

柑 KORO 蘆

和歌山大学経済学部柑芦会誌

第56号 (2025年版)



柑芦会の概要

■柑芦会の名称

柑芦会の「柑芦」とは、和歌山といえば「蜜柑」、学校の敷地周辺には、開校当時「芦」が生い茂っていたことから、「蜜柑」の香りと天を指して伸びる「芦」のたくましさ、強さに因んで高商初代校長の岡本一郎氏により命名された。柑をカンとは読まず、コウと呼び習わしている。

■柑芦会の歴史

大正15(1926)年3月11日、和歌山高等商業学校第1回卒業式が挙行されたが、その時数名の者が発起人となり、学校当局の同意も得て同窓会が発足した。同窓会は、後に初代校長であった岡本一郎氏によって昭和4年「柑芦会」と命名された。

■柑芦会の組織

柑芦会は、和歌山高等商業学校、和歌山経済専門学校、和歌山工業専門学校、和歌山大学経済学部、短期大学部、和歌山大学大学院へと連綿と受け継がれて来た。2021年3月現在、卒業生は29,000名を超え、現存の会員数は約16,000名である。国内には23の支部が作られ、活発に活動している。

■柑芦会の活動

柑芦会は、会員相互の親睦を図り母校と会員の関係を緊密にし、その隆盛と発展を助けることを目的として様々な活動を展開している。支部総会・懇親会、同期会、ゼミ・クラブOB会等のほか、ゴルフ会、歩こう会(つれもて会、鎌倉歩こう会)、囲碁会、詩吟会、俳句の会「芦火」、川柳サークル等の同好会、勉強会(ぶらくり会、人生塾)、経済講演会、異業種交流会、就職支援活動等のほか、母校での卒業生による寄附講義開講等その他色々な分野で積極的な活動を行っている。

■事務所・広報

本部・大阪事務所：〒540-0012 大阪府中央区谷町4-4-17

ロイヤルタワー大阪谷町207号

電話：06-6941-4986

Fax：06-6947-7925

E-mail：honbu@kourokai.org



和歌山大学の学生だった頃、夏休み、当時ハマっていた矢沢永吉の歌の一節の「ランナウェイ南へ向かえば今、答えなど無いと気づいた〜♪」というフレーズを口ずさみつつ、こしちゃん(39期の小柴学司君)と、この絵の橋杭岩がある串本へ、車を走らせたものでした。

若かりし頃のキラキラした思い出の風景を絵にしてみました。学生の頃の親友の存在は、とても有り難く、気持ちは、当時と変わらず青春真っ最中です!☆

作 和歌山大学 教育学部 39期
内田 進一

柑 芦 56号 (2025年版) 目 次

会長ご挨拶

柑芦会会長 大25 垣見 祐二 … 02

学長・学部長ご挨拶

和歌山大学 学長 本山 貢 … 03
経済学部 学部長 金川めぐみ … 04

特集

和歌山大学柑芦会の課題と方向性
柑芦会会長 垣見 祐二 … 05
報告
2025年5月17日柑芦会理事会報告 … 08
柑芦会2025年度活動方針 … 09
①柑芦会の一般社団法人化 … 10
②支部年会費の統一 事務局 … 11
③柑芦会百周年記念行事・事業
百周年記念行事・事業PT … 12

特別寄稿

「笑顔あふれる和歌山」を実現するために
和歌山県庁商工労働部長 中場 毅 … 13
COVID-19と和歌山県経済の動向 -沖繩県と比較して-
和歌山大学経済学部 名誉教授 齊藤久美子 … 14

支部だより

和歌山支部 大28 山中支部長 … 17
大阪支部 大31 平野幹事長 … 18
東海支部 大27 平松副支部長 … 20
神戸支部 大20 平林支部長 … 21
姫路支部 大29 黒田支部長 … 23
北陸支部 大41 林支部長 … 24
徳島支部 大36 三村幹事長 … 25
香川支部 大22 島田相談役 … 26
広島支部 大45 三吉支部長 … 29

母校だより

「和歌山大学学生挑戦コンテスト2025」 …… 30
作品紹介
システム工学研究科1年 大川 直 … 31
システム工学部4年 山野 夏 … 32
システム工学部4年 加藤 愛穂 … 33
経済学部2年 宮田 大壽 … 34
経済学部3年 泉 綾乃 … 35
システム工学研究科1年 丸山 聖也 … 36
経済学部1年 中野 光鳳 … 37
和歌山大学同窓会 活動報告
同窓会長 岡村 周成 … 39
和歌山大学基金への協力をお願い 基金室 … 40
今年の卒業生の就職状況 キャリアC … 42
和大人材応援採用企業特集 …… 47
現在の就職状況について 准教授 本庄麻美子 … 45
新刊書紹介 経済学部分室 … 44
大学役員及び事務局紹介 経済学部分室 … 46
経済学部教職員の異動 経済学部分室 … 51
入学者出身学校都道府県別状況 …… 52

出合いのひろば(会員談話室)

随想

大人(たいじん)北卓治(大21)君を偲ぶ 大25 河本 要 … 54
終戦日の私 大5 北 道子 … 54
「自由大学」体験ツアー 大18 北村 修一 … 55
松下会館横の胸像 大20 平林 義康 … 59
第20回日本スポーツグランプリ受賞 大17 水谷 太一 … 60

短歌

作品 大6 川淵 湧三 … 58

川柳

作品 大13 佐竹 明吟 … 59

俳句

俳句同人会(芦火) …… 61

川柳

柑芦会「川柳サークル」 …… 70

柑芦会

柑芦会の概要 事務局 … 裏表紙
寄附講義について 大26 糸川 公偉 … 62
役員名簿 事務局 …… 66
支部一覧表 事務局 …… 64
決算・予算の概要 事務局 …… 68

後援会

役員名簿 事務局 …… 67
決算・予算の概要 事務局 …… 69

訃報

事務局 …… 71

広告索引 事務局 …… 72

あとがき 大17 穂永 千秋 …… 73

表紙 写真 教育学部 大39 内田 進一



会長ご挨拶

柑芦会 会長 大25 垣見 祐二

柑芦会は多岐にわたる課題に直面しています。この一年間、会長として、財務の健全化、組織基盤の整備、同窓会活動の活性化といった重要なテーマに注力してまいりました。これらの課題の解決には時間を要しますが、任期内に具体的な成果を生み出し、同窓会の未来への基盤作りを進めたいと考えております。

まず、財務の健全化ですが、事業内容の見直しや効率化によりコスト削減を図るとともに、安定的な資金確保のため新たな収益源の開拓に取り組みます。また、中期収支計画を策定し、事業内容を適切に管理することで、安定した財務基盤を構築する仕組み作りを進めてまいります。

組織基盤の整備については、すでに柑芦会の一般社団法人化の準備を進めています。2026年4月に「一般社団法人柑芦会(仮称)」設立を目指し、必要な手続きや準備を着実に実施します。これにより、組織の法的基盤が確立するとともに、運営の透明性を高めることができると考えております。

また、同窓会活動の活性化については、各支部との交流を深め、多様な人材の参加を促進します。とくに、若手や女性、留学生など幅広い層を迎え入れることで、多様性を持つ組織への進化を目指します。さらに、活発な活動を展開している他大学同窓

会の事例を参考に、新たなアイデアを取り入れ、実効性の高い取り組みをしていきたいと考えております。

大学支援も同窓会活動の重要な柱です。寄附講義や学生挑戦コンテスト、奨学金制度、研究助成などの支援を引き続き実施していきます。同時にこれらを持続的に実施できる体制の整備を目指し、「柑芦会」「一般財団法人和歌山大学経済学部後援会」「全学同窓会」の役割分担を明確化するとともに、必要に応じ再構築を図り、一層強力な支援体制の構築に努めます。

来年2026年には、柑芦会は設立百周年を迎えます。記念式典や講演会、パーティなどの記念行事の開催を計画するとともに、記念誌の発行や寄附金募集といった記念事業にも取り組みます。この百周年を、会員の皆さまとの絆をより一層深める好機とし、柑芦会の歴史と伝統を次世代へ繋げていきたいと考えております。

これらを実現するためには、皆様のご協力が不可欠です。私たち同窓会員の一人ひとりの力を結集することで、未来へ続く柑芦会を築いていきましょう。どうぞ引き続き、温かいご支援とご助力を賜りますようお願い申し上げます。



ご挨拶

和歌山大学 学長 本山 貢

和歌山大学柑芦会の皆様には、平素より本学に対し温かいご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

和歌山大学は、創立以来一貫して「地域に貢献する人材の育成」を使命に掲げ、教育・研究・社会貢献に取り組んできました。そして現在、私たちは「未来を切り拓く知の舞台」としての総合大学を目指し、多様性の尊重と協同の精神、地域社会との共存共栄、知のバリューチェーンの創造、世界に開かれた視野、そして人々の持続的な幸福＝well-beingの追求という理念のもと、大学全体の改革と進化を進めています。

2025年4月には、新たに「地域連携推進プラットフォーム」を立ち上げました。これは、産官学金の各分野が連携し、和歌山を中心とした地域課題の発見とその解決に向けて知恵とリソースを結集させる試みであり、和歌山大学が知の拠点として地域を牽引する姿勢の表れでもあります。このプラットフォームを通じて、教育と研究、そして社会実装を有機的に結び付けた「共創の場」を構築し、地域社会の持続可能な発展に貢献していく所存です。

また、学生教育においても、「自律性」「創造性」「共感力」の育成を軸にしつつ、より一層の充実を図っています。現代社会は複雑で正解のない課題に満ちています。だからこそ学生たちには、知識や技術のみならず、広い視野と深い人間理解を備えた人間力

を培ってほしいと期待しています。

特に重要視しているのは、地域に貢献しようという志を持ち、多様な背景をもつ人々と協働する力を育むことです。これは、グローバル化の進展とともに求められる「共生の力」でもあります。また、学生一人ひとりが教養と専門性をバランスよく身につけ、日々変化する時代に柔軟かつ創造的に対応できるよう、全学的な教育改革を進めています。

さらに、和歌山大学は国際交流の活性化にも力を入れています。海外協定校との学術連携や学生・教職員の交流はもとより、留学生の受け入れ体制も強化し、キャンパス内においても国際的な学びの機会を創出しています。国際的な視野を持ち、多文化を理解し尊重できる人材の育成は、これからの時代に欠かせない課題です。学生たちには、世界と地域をつなぐ懸け橋として、自らの可能性を切り拓いてほしいと強く願っています。

柑芦会の皆様におかれましては、母校の歴史と伝統を支え、後輩たちを温かく見守ってくださっていることに、改めて深く感謝申し上げます。和歌山大学は今後も、卒業生、地域社会、そして世界とのつながりを大切にしながら、「未来を創造する知の拠点」として進化を続けていきます。どうか引き続き、皆様のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



変化の時代に、 地域と歩む経済学部のこれから

和歌山大学 経済学部長 金川 めぐみ

柑芦会の皆様には、平素より和歌山大学経済学部の教育・研究活動ならびに学部運営に格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

2023年4月より学部長を拝命し、柑芦会の皆様からの温かいご支援に支えられながら、この2年間、学部の運営にあたってまいりました。このたび、学部長改選を経て再任され、引き続きその職責を担わせていただくこととなりました。国立大学に求められる役割がますます重要となる中、経済学部をさらに発展させるべく、教職員一同と力を合わせ、より良い教育・研究環境の実現に取り組んでまいります。今後とも、柑芦会の皆様からの変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年4月には、経済学部308名(77期生)、大学院経済学研究科39名(60期生)の新入生を迎えました。新入生たちは、大学ならではの主体的な学びのスタイルにも徐々に慣れ、それぞれの目標に向けて着実に歩み始めています。私たち教員も、学生の学ぶ意欲に応えるべく、引き続き教育内容の充実と授業改善に努めてまいります。

さて、高等教育を取り巻く環境は大きく変化しつつあります。文部科学省は2025年2月、中央教育審議会による答申「我が国の『知の総和』向上の未来像 ～高等教育システムの再構築～」を公表しました。その中では、大学進学者数が2021年の約62.7万人から、2035年には約59万人、2040年には約46万

人へと、約27%減少するとの見通しが示されました。こうした少子化の進展を受け、答申では「高等教育の質の向上」「規模の適正化」「アクセスの確保」の3点が、今後の大学改革の柱として挙げられています。

経済学部では、「質の向上」の観点から、文部科学省による「人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業(CSV経営研究プログラム)」に、大学院経済学研究科が連携校として参画し、SDGsの理念を踏まえた社会課題の解決に向けた教育・研究活動を推進しています。また、柑芦会の皆様による寄付講義は、社会の第一線で活躍される先輩方から学生が直接学べる貴重な機会となっており、教育の質向上にも大きく寄与しております。

「規模の適正化」については、大学全体の方針を踏まえ、今後慎重に検討していくべき重要な課題と捉えております。一方で、「アクセスの確保」に関しては、地方国立大学における経済学部として本学部が果たしてきた地域貢献の意義と役割を改めて認識し、今後も産官学連携を軸としながら、地域とともに歩む大学として人材育成に力を注いでまいります。

結びに、柑芦会のさらなるご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。今後とも、本学経済学部への変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

和歌山大学柑芦会の課題と方向性 ～緑丘会・陵水会との比較～

柑芦会会長 垣見 祐二

はじめに

和歌山大学経済学部と同窓会組織である柑芦会および経済学部後援会は、同窓生の交流促進や親睦、ならびに和歌山大学経済学部への支援を目的として、長年にわたり積極的な活動を展開してきました。しかし、現在、多岐にわたる課題に直面しております。ここでは、旧高商系国立大学同窓会の本部レベルにおける組織体制について比較するとともに、とくに財務状況や活動内容について、小樽商科大学、滋賀大学の各同窓会と和歌山大学の同窓会と比較します。この比較を通じて、和歌山大学柑芦会および経済学部後援会が直面する具体的課題を明確化するとともに、これらの解決策を検討し、将来の方向性についての考察を行います。

1. 旧高商系国立大学同窓会の組織体制

旧高商系国立大学の同窓会組織は、新制大学設立の経緯に基づき、社会科学系学部を基盤に各学部が独立した組織形態をとっている点が特徴です。法人格を獲得した組織が多い一方で、柑芦会のような任意団体として活動する例は少数派になりつつあります。法人格では一般社団法人が主流ですが、小樽商科大学や長崎大学は、認定や管理が厳しい一方、税制優遇が大きい公益社団法人形態を採っているという特徴がみられます。

また、全学同窓会組織については、近年、任意団体としての校友会や全学同窓会の形成が盛んとなってきていますが、学部同窓会を解消して全学同窓会等に統合した例は存在していないようです。一橋大学や滋賀大学、小樽商科大学、和歌山大学では、親睦や交流を目的とする同窓会組織と、母校支援を目的とした法人格を持つ後援会組織が分離されています。とくに小樽商科大学、一橋大学や滋賀大学の後援会組織では、公益財団法人の形態を採用していることは注目に値します。

表1 高商系大学同窓会組織の比較

大学	同窓会	法人格*	大学支援組織	法人格*
小樽商科大学	緑丘会	公社	小樽商大後援会	公財
福島大学	信陵同窓会	(任意)	(校友会)	(任意)
一橋大学	如水会	一社	一橋大後援会	公財
横浜国立大学	富丘会	一財	(校友会)	(任意)
名古屋大学	キタン会	一社	(全学同窓会)	(任意)
富山大学	越嶺会	(任意)	(同窓会連合)	(任意)
滋賀大学	陵水会	一社	陵水学術後援会	公財
和歌山大学	柑芦会	(任意)	経済学部後援会	一財
神戸大学	凌霜会	一社	(校友会)	(任意)
山口大学	鳳陽会	一社	(全学同窓会)	(任意)
香川大学	又信会	(任意)	(校友会)	(任意)
大分大学	四極会	一財	(同窓会連合)	(任意)
長崎大学	瓊林会	公社	(全学同窓会)	(任意)

*法人格：一社は一般社団法人、一財は一般財団法人、公社は公益社団法人、公財は公益財団法人の略

2. 小樽商大緑丘会、滋賀大陵水会と和歌山大柑芦会との比較

旧高商系大学同窓会の中で、設立経緯や規模が和歌山大柑芦会に近く、さらに活発な活動を展開している小樽商大緑丘会および滋賀大陵水会について、財務内容や活動内容に焦点を当てながら和歌山大柑芦会との比較を行います。

[1] 財務内容の比較

同窓会の年間活動費を基準として比較した場合、緑丘会および陵水会はいずれも柑芦会の約3倍の規模となっており、活動レベルにおいて大きな差が見受けられます。同窓会の基本収入源である会費についても、緑丘会では柑芦会の3倍、陵水会では4倍規模となっており、収入レベルの差が顕著です。この差の主な要因として、同窓会の組織率や収入内訳の違いが考えられます(詳細な調査が必要)。さらに、会費収入以外の収入についても、柑芦会との差が存在します。

母校への支援に該当する助成金については、和歌山大学経済学部後援会の年間助成金額が1.5百万円であるのに対し、小樽商大後援会では9.4百万円、滋賀大学陵水学術後援会では26百万円(うち百周年関係費

19百万円を含む)となっており、これらにおいても大きな差が存在します。

期末資産を比較すると、和歌山大柑芦会・後援会は合計127百万円の資産を保有していますが、滋賀大陵水会・後援会は223百万円、小樽商大緑丘会・後援会は742百万円と、特に緑丘会は際立って大きい資産を有しています。

金融資産の運用方法については、小樽商大緑丘会・後援会が国債・社債による運用を採用しているのに対し、滋賀大学陵水会・後援会は普通預金および定期預金による運用を行っているようです。和歌山大柑芦会・後援会と同様に、保守的な運用方針である点は共通しています。助成金の捻出方法に関しては、金融資産の運用による収益確保も考えられますが、小樽商大および滋賀大学の同窓会組織では、資産の取り崩しや寄附金の募集などによって助成金を賄っていると推察されます。

表2 緑丘会、陵水会、柑芦会等との財務状況等の比較(2023年度)

項目	緑丘会	陵水会	柑芦会
年間活動費(支出)	38百万円	30百万円	12百万円
会費収入	18百万円	26百万円	5.5百万円
(内入会金)	(一)	(16百万円)	(5.5百万円)
その他収入	21百万円	5.4百万円	2.4百万円
大学への助成*1	9.4百万円	22百万円*2	1.5百万円
年度末資産*2	742百万円	223百万円	127百万円
金融資産運用	国債・社債	定期預金	国債

*1 後援会を通しての助成
 *2 百周年の19百万円を含む。
 *3 同窓会の繰越金+後援会資産

[2] 個別活動内容の比較

会費収入の基盤となる各組織の入学定員を比較すると、緑丘会および陵水会は柑芦会の倍近い定員規模と大きな差が存在します。これが会費収入に大きな影響を与える要因となっており、柑芦会の将来の組織体制を考える上で重要な示唆を与えるものと思われます。

入学金以外の会費収入に関しましては、緑丘会で

は外部企業や個人、および在校生を対象とした賛助会員制度を設けており、賛助会費によって年間約4百万円の収入を得ております。一方、陵水会では会員に対し年間3,000円の本部会費を徴収し、これにより年間約6.2百万円の収入を確保しております。これらは、柑芦会における今後の増収戦略として注目すべき手法であると考えられます。

その他収入として、緑丘会が学生向けに提供している企業セミナー「キャリア開発支援事業」が挙げられます。この事業は運営費(約6.5百万円)を差し引いた後でも1千万円を超える利益を生み出しており注目に値する事業です。

学生向け活動の一環としては、緑丘会が実施している「エバーグリーン講座」があります。この講座は柑芦会の寄附講義と類似したものです。また、奨学金の充実度において、緑丘会および陵水会はいずれも柑芦会を上回る内容となっています。

表3 緑丘会、陵水会、柑芦会等との個別活動内容の比較(2023年度)

項目	緑丘会	陵水会	柑芦会
入学定員	515人	560人	290人
入会金以外の会費	賛助会費(4.0百万円)	本部会費(6.2百万円)	—
その他事業	キャリア開発支援事業(19百万円)	駐車場事業(2.3百万円)	—
学生向け講座	エバーグリーン講座(2単位)	—	寄附講義(2単位)
奨学金	20人(計2.0百万円)	16名(計3.8百万円)	2名(計0.5百万円)

3. 柑芦会・経済学部後援会の検討課題と方向性

[1] 財務健全化に向けた収入増策の導入

柑芦会の収入基盤となる入会金は、残念ながら近年逡減傾向にあります。このため、入会金納入率の維持・向上を目指し、新入生ガイダンスでの柑芦会の紹介をはじめ、寄附講義の継続実施や奨学金の対象人数の増加など、現役学生に訴求力のある施策を展開することが重要であると考えます。また、近年増加している留学生への加入促進策についても具体的に検討する必要があります。

緑丘会が採用している賛助会員制度や、陵水会での本部会費の導入は、柑芦会における有力な増収策候補として位置づけ、具体的な導入内容や時期を検討すべきであると考えております。加えて、緑丘会が行っているキャリア開発支援事業については、訪問調査等を通じてその内容を詳細に精査すべきと考えます。

金融資産の運用益の確保については、緑丘会や陵水会でも積極的な運用は行われてはいないと推察されますが、今後のインフレや金融情勢を踏まえ、さらなる検討が必要と考えております。

また、寄附金募集については金融資産の充実を図るための重要な施策であり、来年の柑芦会百周年などの機会を活用し実施すべきです。そのための具体的な実施内容や時期について早急に固める必要があります。

[2] 組織体制の再構築

現在の柑芦会の活動内容や資産状況を考慮すると、柑芦会の法人格の取得が望まれます。このため、来年度の一般社団法人化に向けて着実に準備を進めていこうと考えております。

また、一般財団法人である経済学部後援会については、5年後には法人資金が枯渇する見通しであり、それに伴い後援会組織の見直しが必要となります。将来の組織体制については、大学支援への現状や機運、ならびに全学同窓会(任意団体)の動向を踏まえながら、後援会組織の将来的な方向性を検討すべき時期になったと考えております。

なお、長期的には、人口減少による学生数の減少や学部改廃という事態が予想されるため、経済学部後援会や柑芦会に限らず、他学部の同窓会組織を含めた全学的な同窓会組織再編についても長期的課題として検討する必要があると考えます。

参考文献・資料

- [1] 和歌山大学経済学部同窓会柑芦会(2025)『柑芦第55号』「柑芦会決算・予算の概要」「後援会決算・予算の概要」和歌山大学経済学部同窓会柑芦会ホームページ <https://dousokai.site/kourokai/magazine/2538/>
- [2] 公益財団法人緑丘会(2024)『予算と決算報告(令和5年度)』公益財団法人緑丘会ホームページ <https://ryokkyu.or.jp/>
- [3] 小樽商科大学後援会(2024)『決算報告(令和5年度)』公益財団法人小樽商科大学後援会ホームページ <https://otaru-uckoen.or.jp/>
- [4] 一般社団法人陵水会(2024)『2023年度収支決算書』一般社団法人陵水会ホームページ <https://www.econ.shiga-u.ac.jp/ryosui/>
- [5] 公益財団法人陵水会学術後援会(2024)『2023年度事業報告及び決算』一般社団法人陵水会ホームページ <https://www.econ.shiga-u.ac.jp/ryosui/>
- [6] 高田英一(2024)『国立大学における全学同窓会の運営のあり方 部局同窓会との調整と関心の獲得を中心に』公益法人非営利法人研究学会 https://www.npobp.or.jp/post-1/papers_17-09



柑芦会定例理事会・評議員会開催!

2025年度の柑芦会・(一財)和歌山大学経済学部後援会の定例理事会・評議員会が、昨年引き続きリアル開催となりました。

日時：2025年5月17日(土)13:00～17:30

場所：大阪ガーデンパレス 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-3-35

参加者は、柑芦会理事・評議員が51名(内、現地参加者33名、書面参加者18名)で、来賓として本山学長、金川学部長、脇田主幹をお迎えして開催されました。

柑芦会は、来年2026年に発足百周年を迎えます。この節目の時に将来の更なる発展のために次の3点が決議された。

【I】柑芦会の一般社団法人化(柑芦会4号議案)

【II】支部年会費(一人年額3,000円)の統一(柑芦会5号議案)

【III】柑芦会百周年(2026年度)事業・行事(柑芦会6号議案)

なお、上記を含め、予定の議案は全て可決されました。

(第一部) 柑芦会 定例理事会

- 1号議案 2024年度事業報告及び決算案承認の件
- 2号議案 2025年度活動方針案承認の件
- 3号議案 2025年度予算案承認の件
- 4号議案 柑芦会の一般社団法人化の件
- 5号議案 支部年会費統一の件
- 6号議案 柑芦会百周年記念行事・事業の件



(第二部) 財団 定例理事会・評議員会

- 1号議案 2024年度事業報告及び決算案承認の件
- 2号議案 2025年度事業計画及び予算案承認の件
- 3号議案 EC奨学金制度の対象者変更の件
- 4号議案 役員(理事・監事)の任期途中の変更の件



柑芦会及び財団の2024年度決算及び2025年度予算、並びに役員については本誌別頁に掲載しています。その他の議案については下記の通りです。

以上

柑芦会2025年度活動方針

【基本方針】 2024年度から変更なし

1. 優先度の高い課題解決を通じ、柑芦会全体と各支部の活性化を図る。
2. 柑芦会内での各層でのコミュニケーションと一体感のさらなる向上を図る。
3. 母校のステータスの向上のため、母校と学生に対する支援を強化する。

【重点項目】

1. 柑芦会財務の健全化と柑芦会活動の活性化支援

〔1〕柑芦会財務の健全化

- ① 事業内容を見直し、可能なものから着実に費用削減を図る。
- ② 収入増策を立て、順次導入することで収入増を図る。
- ③ 中期収支見通しを立て、収支健全化の進捗を管理する

〔2〕柑芦会活動の活性化支援

- ① 各支部との人的交流を促進し、支部活動の基盤となる人材発掘や確保に努める。
- ② 他学部同窓会との交流を促進し、支部活動の拡大と活性化を図る。
- ③ 活発に活動している他大学同窓会(陵水会、緑丘会等)の活動を調査し、柑芦会活動の活性化の方向性を検討する。

2. 事業基盤の整備と充実

〔1〕柑芦会の一般社団法人化

- ① 2026年4月を目標に「一般社団法人柑芦会(仮称)」を設立する。
- ② 「一般社団法人設立準備室(仮称)」を設置し必要な準備、手続を進める。

〔2〕大学支援の継続と体制整備

- ① 寄附講義、学生挑戦コンテスト、奨学金および研究助成等の大学支援を継続実施するとともに、長期的に大学支援が継続できるよう、財務基盤の整備や支援体制について検討する。
- ② 大学支援に関し、「全学同窓会」や「一般財団法人和歌山大学経済学部後援会」との役割等について検討する。

3. 柑芦会設立百周年(2026年)に向けた準備

〔1〕記念行事の検討と準備

- ① 記念式典・講演会・パーティ等、記念行事の内容検討と準備を進める。
- ② 記念行事の日時決定および会場を確保する

〔2〕記念事業の検討と準備

- ① 寄附金募集、柑芦誌記念号等、記念事業の内容検討と準備を進める。

以上

柑芦会の一般社団法人化について

今年度5月17日の理事会にて、柑芦会の組織形態を任意団体から一般社団法人化することが決議され、8月2日会議にて会長・副会長を中心メンバーとした設立準備委員会が結成されました。取り組み目的やスケジュールは下記のとおりです。

1. 目的

- ①一般社団法人化により、法的地位を取得することで、法的責任の所在の明確化、組織運営や財産管理の透明性向上、社会的な信用力の向上を図る。
- ②法人化に合わせ組織基盤や財務力を強化し、同窓会活動の一層の発展を期す。
- ③法人化による社会的信用度の向上により、会員拡大や寄付の増加を図る。
- ④保有財産を法人に帰属させることで、その保全をより安全なものにする。

2. スケジュール

【2025年度】

- ①2025年5月17日 理事会：法人化決議
- ②2025年8月2日 会長副会長会議：定款確認、設立準備委員会発足
(活動計画の策定、設立事務手順の確認)
- ③2025年10月4日 会長副会長会議：運営細則や諸規定の策定
(代議員の選出方法、理事長・理事の選出方法ほか)
- ④2026年3月1日 設立登記申請準備(司法書士・公証人役場)

【2026年度】

- ①2026年4月1日 法人設立、設立時法人の理事長・常務理事・理事・監事を登記
- ②2026年5月 柑芦会理事会(解散)、新法人第1回代議員総会同時開催

【2027年度】

- ①2027年5月 新法人第2回代議員総会、理事会

3. 取組体制

- ①設立後の財務会計の準備は本部事務局が行う。
- ②設立後の各支部の位置づけについては、当面は現状を維持する。なお、将来の連結会計の導入に備えて、会計年度の統一(4月1日から翌年3月31日)や年会費の徴収方法や金額の統一を図る。

以上

支部年会費の統一について

支部の年会費は、年間一人当たり3,000円、2,000円、1,000円と支部によって異なっており

また、徴収していない支部もあります。(下左図ご参照)

そこで、柑芦会全体の収入増を図り、支部活動を支援するため、年会費を統一し、全会員の皆様に納入のお願いをすることになりました。(下右議案書ご参照)

金額については、大阪、和歌山、東京、東海、神戸、九州他大部分の支部(全会員の86.6%地域)で実施している@3,000円に統一されました。

よろしく、ご協力の程お願い申し上げます。

◆納入方法について

毎年6月に、お振込用紙(コンビニ振込用紙)を柑芦ニュースと共にご自宅宛にお送りしますのでお振込みください。(振込期間：7月～9月の3ヶ月間)

お振込みいただいた年会費は、柑芦会本部より納入者名を添えて10月末に各支部宛に振り込みます。

◆年会費納入者様に対して

柑芦誌(2025年度版)56号及び柑芦誌(2026年度版)57号(特集:柑芦会百周年記念)をお送りいたします。

支部名	年会費(注)	2024年年度 会費徴収状況				
		会員数	本部扱	支部扱	徴収計	徴収率
和歌山	@3,000円	4,796	102	156	258	5.38
大阪	@3,000円	5,965		599	599	10.04
東京	@3,000円	1,172	156	24	180	15.36
東海	@3,000円	597	38	17	55	9.21
神戸	@3,000円	1,000	80	8	88	8.80
京滋	@2,000円	378	48		48	12.70
北海道		13				
東北		50				
北陸		113				
福井		104				
静岡		115				
三重	@2,000円	211	30	7	37	17.54
姫路	@2,000円	213		19	19	8.92
岡山		205				
広島	@1,000円	122		19	19	15.57
山陰	@1,000円	157				
山口		57				
徳島	@3,000円	146		11	11	7.53
高知		27				
香川	@2,000円	92	18	1	19	20.65
愛媛		108				
九州	@3,000円	362		20	20	5.52
沖縄		30				
合計		16,033	472	881	1,353	8.44

(注) 2024年度年会費徴収時の年額です。未記入は未徴収支部です。

(柑)5号議案

支部年会費の統一について

各支部の年会費を統一し、本部がその徴収業務を代行する。

1. 目的及び理由

- ① 支部活動・支援費の確保
- ② 柑芦会全体の収入増加
- ③ 年会費徴収業務及び管理に係る支部の業務負担の軽減
- ④ 会員の公平感の向上

2. 年会費額 一人年額 3,000円とする。

3. 徴収業務 原則、本部が代行する。

4. 期 日 2026年度より実施する。

以上

柑芦会100周年記念式典及び行事

柑芦会は2026年に設立百周年をむかえるため、柑芦会会員を主な対象とし、2026年に記念式典等の記念行事を開催するとともに、寄附金募集等の記念事業を実施する。

記 念 行 事

- 百周年記念行事として、記念式典、講演会、パーティを開催

日 時 2026年11月29日(日) 14:00～18:00 (遠隔地からの来訪を考慮して14:00開催)
会 場 JR和歌山駅前 グランヴィア和歌山
会 費 10,000円(予定)

参加人数 百人超を予定

来 賓 本山学長・歴代学部長・和歌山県知事・和歌山市長を予定

- 講演会・催し物

講演会は和歌山での未来ある事業関連等についてのテーマで検討中
パーティはミニコンサート等

記 念 事 業

- 柑芦誌百周年特別記念号・寄附金募集ほか

寄附金について 使用目的を明確化し別会計で整理

使用目的例：現役学生への奨学金、図書館・紀州経済史文化史研究所への書物寄贈、

柑芦誌アーカイブ(電子化)作成等

株式会社 小 泉 組

代表取締役会長 小 泉 陽 (大学5回)

〒657-0035 神戸市灘区友田町3丁目2-10-301号

電 話 (078)811-8021(代)

F A X (078)811-8268

「笑顔あふれる和歌山」を実現するために

和歌山県商工労働部長 中場 毅

柑芦会の皆さまには、平素から和歌山県行政、とりわけ商工労働行政に御理解と御協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

本年4月の岸本前知事の急逝は誠に信じ難く、深い哀しみに包まれる出来事でありました。岸本前知事は、ふるさと和歌山への熱い思いを抱き、常に弱い立場の方々の視点に立って、県民一人ひとりの笑顔を願いながら、和歌山県勢の発展に尽くされました。

この思いを引き継ぎ、新たに就任した宮崎知事とともに、職員一人ひとりが県民に寄り添い、「笑顔あふれる和歌山」を実現していくことが我々の責務であると考えています。

本県が直面する課題は多岐にわたりますが、特に、全国を上回るスピードで進む人口減少と少子高齢化については、労働力不足や体制維持の困難化、社会保障費負担の増加など、産業をはじめ教育、医療・福祉などあらゆる分野に影響を及ぼします。人口減少と少子高齢化という大きな流れは避けられない状況において、これに対応していくことは、地域社会を守っていくために全庁を挙げて取り組まねばならない喫緊の課題です。

そのような中、商工労働部では、県民の皆さまが「いきいきと働くことができる仕事をつくる」ことを目指し様々な施策を推進しています。具体的には、企業が直面する人材不足やコスト削減に対応するため、DX推進スキル、生成AI等に関する講習の実施などを通じ、DXの実現を推進するとともに、地域の課題解決を目指す企業の創出に取り組んでまいります。また、県産品を厳選し、認定、推奨する新たな制度「和歌山一番星アワード」の創設により、国内外に向けて優れた県産品の情報発信や販路拡大に取り組んでまいります。さらに、将来、和歌山が宇宙に関わるあらゆる企業や人が集い、夢を実現する場所である、「スペースエントランス」になることを目指して、チャレンジしてまいります。

こうした取組をより一層進めるためには、県内で活躍する優秀な人材の確保は必要不可欠です。県と

いたしましても、県内企業に一人でも多くの優秀な学生が就職していただけるよう、合同企業説明会やインターンシップ等を行っているところですが、和歌山大学におかれましては、県内企業の経営者を講師としてお招きし、その企業の取組や魅力等について知っていただく「和歌山企業トップ経営論」を開講されています。本講義は、本年度で17年目を迎えると同様です。柑芦会の皆さまの中にも、本講義を契機として、その企業に就職された方がいらっしゃるのではないのでしょうか。

また、本県では、和歌山で働きたい県内外の学生や求職者を支援する相談窓口として、「わかやま就職支援センター（通称：はたらコーデわかやま）」を設置し、多くの方々の相談対応や情報提供などを行うほか、若者の不本意な早期離職を防止するため、県内企業への定着を支援する取組を実施するとともに、人材確保に向けた取組として、企業のブランド戦略を通じた採用力の向上支援を実施しています。

さらに、外国人材の活躍推進にも取り組んでおり、外国人材雇用サポートデスクを設置し、相談対応やセミナーの開催、マッチング支援等を行うとともに、外国人材の就労・生活環境整備に関する支援等を実施しています。和歌山大学で学ぶ外国人留学生の皆さまにも、県内就職に目を向けていただけるよう努めてまいります。

県内外で活躍されている柑芦会の皆さまには、その情報発信力と事業への参画等により、私どもと共に「笑顔あふれる和歌山」を実現するため、お力添えを賜りますよう、この紙面をお借りしてお願い申し上げます。

結びに、柑芦会の皆さまの今後ますますの御活躍を期待申し上げますとともに、御健勝・御多幸を祈念申し上げます。



COVID-19と和歌山県経済の動向 -沖縄県と比較して-

和歌山大学経済学部 名誉教授 齊藤 久美子

2025年6月28日(土)、ダイワロイネットホテル和歌山におきまして講演させていただき、ありがとうございます。

本講演では、和歌山県経済の活性化の道を探るために、世界最北限とである串本のサンゴ群生に焦点を当てながら、観光業の現状と課題、人口減少・高齢化、交通インフラの未整備、コロナ禍の影響、観光資源の独自性や内需拡大策、宗教施設と税収、マリノレジャーの安全化、防災教育など多角的な視点から現状と今後の展望について考えていきたいと思えます。

1. 自己紹介

私は齊藤久美子と申します。専門はロシア経済・およびロシアを含む旧ソ連会計です。和歌山大学では簿記、会計学、財務分析などを教えて参りました。大阪府立天王寺高校出身、1983年に九州大学農学部農政経済学科卒業、1987年九州大学大学院経済学研究科修士課程修了、1988年に九州大学大学院博士後期課程中退。となっております。1988年に和歌山大学に奉職し、2025年3月に定年退職、名誉教授の称号をいただきました。

所属学会は日本会計研究学会、日本会計史学会、北東アジア学会、比較経済体制学会、ロシア・東欧学会、日本サンゴ礁学会などです。北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター共同研究員を2024年3月まで兼務しておりました。日本サンゴ礁学会という一見、専門外と見られる学会に入会したのは、近年、地方国立大学に課せられる「地域貢献」のためでした。具体的には、世界最北限のサンゴ群生を擁する串本町、和歌山県が、それを有効利用して、和歌山県の経済活性化につなげることができないかという問題意識を持ってのことでした。サンゴ礁学会では経済分野からの参画は少なく、しかしながら注目されています。

専門分野にとどまらず、異分野や地元貢献にも積極的に関わることで、学際的な視点や新たな研究の

可能性が広がり、学界から期待されています。

ところで、修士論文テーマは「NEP移行期のソビエト簿記の歴史的特質」で、以来、移行期における旧ソ連、ロシアの会計について研究しております。ロシアへの渡航回数は長期、短期併せて約70回、ウクライナ5回、キルギス5回、また旧ソ連の16番目の共和国と言われたブルガリアに二回出張しています。

なかでも、1992年には日本学術振興会特定国派遣研究者としてモスクワ大学に一年、滞在しました。この折の派遣申請書の提出は、1991年5月で、派遣内定通知が届いたのは同年8月17日(土)だったと記憶しています。ところが、内定の喜びもつかの間、1991年8月19日(月)にモスクワでヤナーエフ副大統領を中心とするクーデターが発生、それによりソ連邦大統領であり、黒海で休暇中であつたゴルバチョフの権力が失墜し、1991年12月にソ連邦が崩壊しました。このような経緯で相手国(ソ連邦)が消滅したため、出発が半年遅れ、4月から9月になりました。また、ウクライナのキエフ国民経済大学へ滞在中に行くことになっていたのですが、ロシアとは別の国になってしまったため、訪問を断念いたしました。政治的な変動が国際的な研究活動、学術活動に与える影響の具体例で派遣計画の見直しや延期、他国での代替受け入れ先の検討が必要となるとつくづく考えさせられました。

2. 和歌山県経済について-財政力指数-

前置きが長くなりましたが、次に和歌山県経済について具体的に見ていきましょう。

まず、財政力指数について。財政力指数とは地方公共団体の財政力を示す指数であり、1に近づくほど



自立した財政運営が可能であることを示します。そして1を超えると財政は健全であるということで補助金は下りなくなるため、自治体の運営方針や政策にも影響を与えます。

和歌山県内を見ても、近年のデータでは、①和歌山市0.80が和歌山県内で最も高く、②岩出市0.62、③海南市0.52、④有田市0.51、⑤御坊市0.51…⑳由良町、㉑申本町、㉒日高川町…㉓北山村(最下位)となっています。2005年、申本のサンゴ群生が沖縄の慶良間諸島とともにラムサール条約で湿地帯都市として指定され、2008年には国際サンゴ礁年もあいまって、和歌山紀南諸地域は経済活性化の希望に湧いたはずでありました。その後の経緯は2011年の東日本大震災等の地震、津波の影響もあり、必ずしも芳しいものはなくなっています。本講演では慶良間諸島とともに湿地帯にラムサール条約で指定されたということで観光先進県である沖縄県との比較も行ってみたいと思います。

3. 新型コロナウイルスによる観光業・教育現場への影響

2019年から新型コロナウイルスが世界的に流行し、日本では2020年2月頃から人流制限や緊急事態宣言が発令されました。これにより観光業や公共交通機関が大打撃を受け、大学ではオンライン授業が推奨あるいはほぼ強制されました。オンライン授業導入当初は私の場合、学生200人～300人を相手に教員一人で対応し、学生の通信環境や機器の問題が分からないなか、学生のITリテラシーの差への対応など、多くの課題が発生しました。

7. 観光業の動向とインバウンド需要の変化

2020年から2022年まで訪日外国人観光客数は大きく減少し、2024年には回復傾向が見られます。サンゴをキーワードとして観光先進県である沖縄観光コンベンションビューローの発表によると、2024年1月～12月の観光客数は前年比17.8%増の970万3千人と予測されています。2019年の過去最高1,016万人には及んでいません。国内客は4%増、海外客は25.5%減。ホテルの宿泊料金も曜日や時期によって大きく

変動していますので、観光客の消費動向に注意したいと考えます。

8. 宗教施設と税収の関係

和歌山県では、高野山のような宗教施設は固定資産税が課税されません。宿泊も一部宗教活動に該当するため、観光客を集めはしても、税収面では自治体に大きな貢献をしないという現実があります。

そのため高野山自体の財政力指数は高くないです。もし宗教施設中心の観光地で税収増を目指す場合、周辺産業や関連事業の活性化を検討することが必要だと考えます。

9. 沖縄県の宿泊税導入と離島問題

沖縄県では宿泊税導入が議論されてきました。離島からの移動者にも課税するかどうかで問題が発生しました。議会で議論され、いったんまとめられましたが、まだ、議論が続いております。広域自治体ならではの課題ですが、宿泊税の導入には地域特性や住民の移動実態を考慮する必要があると思われます。もし離島住民への課税が問題となる場合、住民の移動実態に応じた特例措置を設けることも必要になるかもしれませんが、公平性の観点からの問題も提起されており、2026年度導入は、不透明となっています。

10. 人口減少と高齢化(申本町・和歌山県)

ところで、申本町の人口を見てみることにしましょう。1980年26,300人から2020年15,000人へと減少。和歌山県全体でも1980年100万人から2020年80万人へと大幅に減少。自然減と社会減の両方が要因で、特に高齢化が進行しています。人口減少は自然減(出生数減・死亡数増)と社会減(転出超過)の両方が要因となっています。高齢化が進み、地域社会の維持が課題となっている。その対策には多角的なアプローチが必要。もし人口減少が急激に進行する場合、地域資源の活用や移住促進策を検討することが必要だと考えられます。

11. OMSB（おむすびクラブ）とマリトレジャーの安全化

沖縄のマリトレジャー業界は個人事業者が多く、データ取得や安全管理が難しいのが現実です。OMSB（おむすびクラブ）はマリトレジャーの安全化とブランド化に取り組み、行政とも連携しています。OMSBの活動内容や行政との連携としては、会長が県警出向者であることなど、具体的な組織運営の実態があり、行政も積極的に活動しています。マリトレジャーの安全化とブランド化を推進し、もしデータ取得が困難な場合、業界団体や行政による登録・管理体制の強化を図ることが望まれています。一方、業者の制度を知らないことが問題としてあげられます。

12. 南紀熊野ジオパークと防災教育

和歌山県串本町にあります南紀熊野ジオパークでは、火山や地震などの自然災害をテーマにした展示や防災教育が行われています。入場料無料や大きな駐車場の整備など、地域貢献も進んでいます。「稲村の火」の歌など、歴史的な大地震の教訓を伝える活動も行われています。自然災害の教訓を観光資源や教育資源として活用しています。

13. 和歌山県串本町の観光資源と課題

和歌山県串本町はマグロやトルコとの親善関係を象徴するゆるキャラ『マグトロ』など独自の観光資源を持っています。交通インフラの未整備や人口減少、観光需要の拡大の難しさなど多くの課題を抱えています。コミュニティバスやタクシーの運営に串本町や和歌山県が資金を出しています。観光地へのアクセスが不便で、駅にエレベーターがないなどインフラの遅れがあります。

観光需要拡大には熊野観光など他地域との連携が必要であるが、コロナ禍で特急列車の本数が半減し、修学旅行も県内で完結する傾向がありました。観光資源のゼロサム性（他地域と取り合いになる）を乗り越えるためには、和歌山ならではの魅力をパッケージ化し、他がやっていない独自性のある取り組みが求められると考えます。

14. 観光資源のゼロサム性と内需拡大の課題

観光資源は他地域と競合しやすく、単に和歌山の観光客を増やしても他地域が減るだけというゼロサムの問題があります。内需拡大のためには、国民全体の消費意欲を高める必要があるが、税金や将来不安から消費が伸びにくい現状がある。和歌山城天守閣での結婚式のような、他がやっていない独自性のある観光パッケージも今後、考えていくことが望まれます。国民の消費意欲を高めるための経済政策や広報活動、地域間連携による観光需要の底上げなど独自性や体験型観光を強化することが必要です。行政や経済界が積極的に消費喚起策を講じることも必要になるでしょう。

15. インフラ整備と観光振興

観光振興には交通インフラの整備が不可欠であり、インフラ整備には予算の確保が課題となります。予算が不足している場合、行政や関係団体に資金援助を要請することも必要となるでしょう。観光客や高齢者の移動が不便あり、串本駅のエレベーター設置や空港・バスの利便性向上が求められます。特に高齢者やサンゴを観光資源とするマリンスポーツなど荷物の多い観光客への配慮が重要で、南紀白浜空港やリムジンバスの本数増加が進められています。

また、駅のエレベーター設置については、個人的なことですが、私の住居の近くの紀伊中之島駅は戦火を免れた貴重な駅舎であり、保存活動が進められています。駅の歴史的価値を活かした観光資源化の一例となりうると思います。

以上、課題は多いですが、今後も研究を続けていきたいと存じます。ご静聴、ありがとうございました。

時間駐車・不動産賃貸

パークス株式会社

代表取締役 織田 宗輔（大10回）

〒578-0941 東大阪市岩田町3-9-6

TEL/FAX 06-6725-3600

和歌山支部

支部長 山中 盛義

幹事長 赤松 良寛

和歌山支部 支部総会 開催報告

令和7年6月28日にダイワロイネットホテル和歌山にて令和6年度の支部総会を総勢40名(来賓8名、講師1名、招待学生・留学生等10名含む)で開催いたしました。例年通り総会、講演会、懇親会の三部構成です。

第一部の総会は、来賓に柑芦会垣見会長、糸川大阪支部長、清水京滋支部長、山根木東京副支部長、吉竹神戸支部幹事長をお迎えし、山中支部長の議長で、活動報告、決算報告と監査報告、さらに来年度の活動・予算が上程され、承認可決されました。その後垣見会長ほか来賓よりご挨拶を頂きました。会長からは柑芦会本部の現状・今後の動向の説明もいただき、また他支部の支部長からは他支部での支部活動の取組等もご報告いただき、和歌山支部の今後の運営に非常に参考となったと思います。

第二部は経学部名誉教授の齊藤久美子氏の講演会です。齊藤先生は一般財団法人和歌山大学経済学部後援会から研究費の支援をさせていただき、その内容の発表をお願いしたものです。講演テーマは『COVID-19と和歌山県経済の動向～サンゴ群生、サンゴ礁を活用した観光行政を中心に：沖縄県と比較して～』で、衰退する和歌山県経済をいかに観光業を中心に発展させていくかを観光に特化している沖縄県を比較にし、「和歌山南部に群生するサンゴを観光の目玉に」と、講演いただきました。なお、沖縄県にある「サンゴ礁」は和歌山県にはなく、あくまでも「サンゴ群生」が申本等にあるとのことでした。



第三部は懇親会で、恒例の教育学部OG「宝子」さんのステージ付です。

懇親会より参加された金川経済学部長のご挨拶を頂き、乾杯で始まりました。

懇親会が進んだ途中からまず「和歌山大学ソー

ラーカープロジェクト」の3名によるプレゼンを頂きました。

同PJはずいぶん前からソーラーカーによるレースを手掛けており、2023年には初めてオーストラリア世界大会にチャレンジしています。2023年は残念ながら途中でリタイア(ダーウィンからアデレード、全行程3,022Km中987Km走破)しましたが、二回目の今年



年は完走、10位以内入賞を目指していますので皆さんの支援(ご寄付)をお願いしたいとのことでした。



次には6名の留学生のスピーチがあり、皆さん日本語で自己紹介等をしていただき、和歌山の感想ではとてもいいところであり、就職を日本でと

の声が多くありました。

その後恒例の「宝子」さんのステージが始まりました。曲目は「もしもピアノが弾けたなら」から始まり、和歌山大学第二学歌等のオリジナル曲やユーミンミュージック、懐かしの昭和の曲メドレーを披露していただき、みなさん堪能していただいたと思います。



最後は恒例の寮歌「花の霞に」を歌って大いに盛り上がり、終了いたしました。

参加していただいたみなさん、誠にありがとうございました。また来年もよろしくお願いいたします。



大阪支部

幹事長 大31 平野 勝久

大阪支部活動報告

大阪支部では2024年度より、支部スローガン「感謝と誇り、そして笑顔！」の理念に基づいた次の5つの活動方針を基本に活動しています。

- ① 人生100年時代に向けて世代を超えた会員間交流活動の再構築を目指す。
- ② 全世代の会員が参加しやすいイベント(同期会、クラブ、ゼミ会)の仕組みづくりを考える。
- ③ 経済講演会や人生塾の開催は適切な頻度・時期に対面式を基本として開催する。
- ④ 支部の運営に関わる若い新たな人材を発掘していく。
- ⑤ 年会費納付会員の増進策を検討する。

特に人生100年時代に向けて世代を超えた会員間交流活動を目指す主な活動が「同窓会・総会」、「柑芦経済講演会」、「人生塾」の以下3点です。

役員一同、今後も多くの皆さんに参加いただける同窓会活動を推進していきたいと考えております。他に情報共有活動として「柑芦会ホームページ」「支部メールニュースの毎月発行」「本部の柑芦ニュース、柑芦誌の発送」等があります。

<2025年度 大阪支部同窓会・総会>

2025年7月12日(土)大阪の道頓堀ホテルにて総勢51名の「同窓会・総会」を開催しました。

ご来賓には、和歌山大学から脇田総務課主幹、教育学部の紀学同窓会から岡村会長、柑芦会から垣見会長、平林神戸支部長、山中和歌山支部長、清水京滋支部長、平松東海支部副支部長、草場東京支部幹事長をお迎えしました。

まず糸川支部長より、「柑芦の謂れについて」の説明と支部スローガン「感謝と誇り、そして笑顔」に満ちた同窓会にしたい旨の「開会挨拶」の後、平野幹事長より4月開催の決算幹事会内容に基づく支部活動報告を行いました。

次に「総会」に続いて「同窓会」では、和歌山大学から脇田主幹代読による「本山学長のご祝辞」、そして垣見会長から「柑芦会活動の動向、大阪支部への期待

とご祝辞」をいただいた後、岡村紀学同窓会会長による「乾杯」で開宴となりました。

各テーブルでの楽しさ溢れる交流が進む中、大学1期から59期までの参加者の中から数人の方々に近況報告や思い出話、趣味の会である「つれもて会(歩こう会)」の勧誘等をしていただきました。

そして最後には、恒例の「寮歌:花の霞に」を大合唱し、笑顔に包まれた有意義で愉快な一時「同窓会」はあっという間に過ぎ、全員で記念写真を撮って「お開き・散会」となりました。



<第35回 柑芦会大阪支部経済講演会>

2025年3月8日(土)午後、大阪堺筋本町の大阪産業創造館イベントホールにて竹内 哲治社会インフォマティクス学環長による「社会が求める人材像の潮流と社会インフォマティクス学環の概要」と題する経済講演会を開催しました。

2023年4月設置の社会インフォマティクス学環は、経済学部・システム工学部・観光学部にデータ・インテリジェンス教育研究部門が密接に連携した文理融合型の教育課程です。

経済・産業等の社会に対して変革をもたらす情報技術により分析及び把握を実践する人材「尖った人材」の育成を目指し、学外の総務省統計局・自治体・企業・他大学等と連携した実践的演習プログラムも実施しています。

この尖った人材とは、経済学や観光学等のビジネスサイエンス力、データ利活用力、企画・実践・発信力を保有するDX人材であり、今後DX人材は情報技術

の急速な進展(デジタル変革)に伴い、あらゆる業種や職種において社会を牽引していくことができると思われます。

最後に、大学連携や学環の目指すべき今後についても熱い思いを語っていただきました。



第1回 いきいき人生塾：2025年6月26日(木)、
講師：西本 公士氏(大学21期・大学院51期)、
テーマ：『65歳からが人生の本番だよ! あるOBの大学院での学び直し』、参加者：15名。



<2025年度 大阪支部人生塾>

大阪支部では柑芦会活動の活性化と会員相互の自己研鑽に資するため、2004年から次の3つの内容で人生塾を大阪市中央区谷町にある「大阪支部会館」にて開催しております。

①いきいき人生塾(同窓会の仲間がいきいきとしている日常)、②ビジネス人生塾(ビジネスの見地から社会人へのアドバイス)、③研究わくわく人生塾(和歌山大学の先生方の研究内容紹介)。

平日の夜、18:30(受付18:00～)に開始、終了は20:00頃で1時間の講義の後はお弁当と缶ビールを楽しみながら質疑応答や講師との意見交換を行います。

2025年度は4回の開催を予定しており、今後も講師の新規開拓をはじめ、更に充実した人生塾にしていきたいと考えております。

第2回 いきいき人生塾：2025年8月5日(火)、
講師：塩見 芳則氏(短大15期・神戸支部)、
テーマ：『縁と感謝について』、参加者：8名。

以上

川瀬計理事務所

税理士 川瀬 雅人 (大27)

〒522-0062 彦根市立花町4-21

電話 0749-23-0011

F A X 0749-23-0015

山中会計事務所

公認会計士 税理士 山中盛義 (大学28回) 税理士 山中典子 (大学25回)

東 直 (大学31回) 寺園喜久美 (大学33回) 宮脇亜有子 (大学45回)

〒640-8567 和歌山市西汀丁36番地和歌山商工会議所2階

電話 (073)423-1231

FAX (073)433-4066

東海支部

東海副支部長 大27 平松 宏信

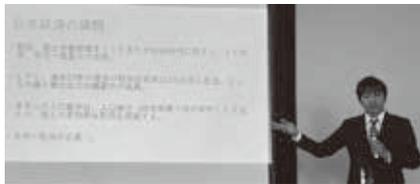
2024年度東海支部春のセミナー

2025年3月19日(水)午後6時よりウインク愛知にて東海支部春のセミナーを開催しました。和歌山大学副学長の足立基浩教授に「ローカルファースト型のまちづくりのすすめ」と題した講義をいただきましたので、その概要を紹介させていただきます。

足立先生は東京への一極集中が国土の非効率な利用を進め、日本経済の持続的発展を阻んでいることを指摘され、その解決策として「ローカルファースト(LF)」の考え方を提示されました。

たとえば、日本は機械、ハイテク部品、高機能素材を輸出し、各国との貿易で大きな黒字を出していますが、しかしイタリアのパスタやオリーブオイル、スイスの薬品・手作り時計に関しては逆に赤字である。こうした国々は観光立国、ブランドの担い手となり、農漁村自体が経済力、競争力を備えている。それが高い人件費や短い労働時間の実現につながっているとのこと。

日本でも、消費型LF、産業型LFの取組みが進んでおり、消費や生産活動を地元重視で行う「地消地産」



を通じて自立型経済の実現が目指されています。

消費に関しては、和歌山市加太地区の近隣観光・近隣別荘・近隣移住や、宇治市のローカルデリバリーなどの事例。生産に関しては、日南市の地域商店街のIT立地拠点化、山陽小野田市のLABV（自治体の遊休地などの活用等）などの事例を挙げておられました。

先行きの見通せない経済社に不安を感じる今だからこそ、地域に根を張る「ローカルファースト」の取組みが未来を切り開く一助になるのではないかと会場には、そうした希望に包まれるような温かな雰囲気を感じられました。

先生がこれまでのまちづくりの取組みの経験から、「ある問題を引き起こしたのと同じマインドセットのままでは、その問題を解決することはできない。」このアインシュタインの有名な言葉を紹介され、「ローカルファーストをさらに進めるポイントは、まちづくり当事者が“プライドを捨てること”が重要。」との先生の言葉が深く心に響くものでした。

このあと、会場を名駅ゲートタワー内のマスターズドリームハウスに移して、美味しいビールで乾杯。足立教授を囲んで和やかな懇親会を開催しました。足立教授には遠路お越しいただき、有意義なセミナーになりましたこと、改めてお礼申し上げます。



天然紀三井寺温泉

龍の湯

和洋102室、収容人員400名

無料送迎バス5台有り

合宿・各種競技等のご宿泊 格安料金御利用下さい。

■ご宿泊はお客様のご希望にあわせて和室・洋室をご用意できます。

ガーデンホテル
紀三井寺

はやし

〒641-0012

和歌山市紀三井寺673 国道42号線沿紀三井寺入口

お問合せ・ご予約

TEL.073-444-1004

FAX.073-446-2321

神戸支部

神戸支部長 大20 平林 義康

第205回ぶらくり会開催

2024年11月30日(土)、神戸市立婦人会館にて第205回ぶらくり会を開催しました。

講師は、日本外科学会、日本消化器病学会、日本肝胆膵外科学会等の指導医・専門医をされている名医・明和病院理事長・山中若樹(やまなか なおき)先生です。参加者は対面視聴13名、全国の支部からのオンライン視聴8名の合計21名でした。

演題は、「健康セミナー」でしたが、副題として「肝胆膵の中でも罹患すると死亡率の高いすい臓がんについて」と、先生のご専門分野に関してご講演頂きました。

ご講演は健康全般に関するものもありましたが、紙面の関係もありますので、「すい臓がん」に関するものを中心にポイントのみ以下に記します。

- ① がんでの死亡者数は、2022年統計で、男性21.9万人、女性16万人。死亡数ランキングは多い方から男性で肺、大腸、胃、すい臓の順、女性は大腸、肺、すい臓、乳房の順。かつては、日本のがんでの死亡は胃がんが圧倒的に多かったが、食事の欧米化の影響で胃がんでの死亡者数は相対的に減少している。米国はがんのピークは過ぎているが、日本はまだピークに至っていない。
- ② がんの切除率は胃・大腸は95%、肝臓65%、胆嚢57%、すい臓37%
- ③ すい臓がんでの死亡者確率は45人に1人(学校の1クラスに1人のイメージ)、罹った場合は手術不能の可能性が高く、生存率も低い。5年生存率は5～6%。
- ④ すい臓の厚みは2cm程と小さく胃の裏側にありがんが見つかりづらい。
- ⑤ すい臓がんの発見はステージ1,2で5%程度、がんが見つかった時には95%が進行しステージ3あるいは4である。
- ⑥ 背中痛みおよび体重の急激な減少等の症状が現れてがんと診断されたときは手遅れことが多い。

- ⑦ 早期発見のポイントはすい臓がんの危険因子を理解し、危険因子がある場合には定期的な検査を実施することに尽きる。危険因子は次の通り。
—家族歴(親、兄弟姉妹に2人以上のすい臓がん患者がいる) 4.5～32倍
—慢性膵炎の場合 13.3倍
—糖尿病の場合 1.5～5.8倍
- ⑧ これまで血糖値が低かったが急に高くなった人もすい臓がんの疑いあり。
・手遅れにならないためのポイントは次の通り。
—近親者にすい臓がんあり / —胃の調子が悪く食欲減退 / —背中がこる
—体重が減少して食欲低下 / —糖尿病にかかっている / —血糖値が急に高くなった
—すい臓に袋があると診断
- ⑨ すい臓がんの検査で内視鏡を用いているものは×で、MR検査を実施すべし。また、造影剤を用いないCT検査は時間とお金の無駄。
- ⑩ PET検査は早期発見には役に立たない。大きいがんしか発見できない。
- ⑪ 超音波内視鏡検査(EUS)が最も精密に検査でき、これで発見できた場合は10mm以下の場合には10年後の生存率は80%超である。
- ⑫ CTでNGであっても、PETでNGであってもEUSでは発見出来る可能性が高い。
- ⑬ 低リスク者は年1回の腹部エコーで大丈夫であるが、高リスク者は随時検査が必要であり、大学病院などでは、判定に時間がかかるので、明和病院で受診するのがよい。
- ⑭ 化学療法が進化してきているので、オーダーメイド医療に移りつつあり、がんを切除する場合でも手術の前後で化学療法を実施している。
- ⑮ 最後に「加齢5訓」:1.きょうよう(用)ときょういく(行く)、2.風邪ひくな、3.コケるな、4.むせるな、5.義理をかけるな(無理するな)

以上、山中先生のご講演を簡単にまとめましたが、講演を視聴した会員の中には早速先生の診察を予約した方や、相談に乗って欲しいと言われる方も出るほど、経歴もさることながら、ご講演からも医療に取り組む熱意がひしひしと伝わってきました。



第206回ぶらくり会開催

神戸支部では2025年3月22日(土)に第206回ぶらくり会を神戸市立婦人会館にて開催しました。以下はその概要です。

- I. 講師：北村修一様(大学18期・柑芦会顧問)
- II. 演題：「素人が見た生成AIの真実
～シニアこそAIを使おう！～」
- III. 参加者：対面視聴11名、オンライン視聴7名、
合計18名

<講演要旨>

1. AIと生成AI

・AI (Artificial Intelligence・人工知能)は1950年台のコンピューター黎明期に基礎研究が始まり、その後幾多の変遷を経て2016年頃には囲碁・将棋やポーカーで人間に勝利して話題を呼ぶこととなります。
そして2022年にはオープン(Open) AI社が対話型の生成AI「Chat GPT」を発表。利用者は2か月で1.2億人を突破、今では全世界の利用者は4億人超、日本人は600万人とされています。
なお、AIは米国ダートマス大学のジョン・マッカーシー博士が1956年に命名されました。

2. 生成AIの特徴

・確率計算でことばをつないで文章を作る／
・ネット上の膨大なデータから学んでいる／
・ネット上に存在する誤った情報も学んでしまう／
・質問に対して常に正しい回答をする訳ではない。／
・知性や感情を理解して回答している訳でもない。等

3. 生成AIを上手く使いこなすポイント

・何を知りたいか「具体的」に伝える／
・一度にたくさんを聞かずに段階的に「簡潔に」質問する／
・ほしい回答のイメージを伝えるために「例」を挙げる／
・人間に対するのと同じように「フレンドリー」に接する。等

4. 生成AIの課題

利用価値の高い生成AIですが、様々な課題があります。

(1)「偏見」、「誤情報」および「フェイク」を堂々と平気で伝えることがある。

➡「詐欺」に繋がる危険性もあるので、回答をそのまま鵜呑みにせず必ずチェック。

(2)「著作権」や「倫理問題」に注意する。➡著作権、プライバシーに配慮し、倫理的な利用を心がける。

(3)ハルシネーション(幻覚)を起こすことがある。
(例)「ダチョウは空を飛ぶ」と回答➡「鳥は空を飛ぶ」と「ダチョウは鳥である」から推論したと考えられる。

5. 生成AIとの上手な付き合い方

(1)まずは使ってみる「習うより慣れる」➡「可能性」の限界を知る。

(2)「質問力・指示力」(プロンプト力)を磨く➡質の高い回答はプロンプトの質次第。斬新な質問、深掘り質問、正解のない質問等、質の高い質問力・指示力が大切。

(3)「効果的に使いこなす」➡あくまでも「道具」なので上手く使いこなすこと。

6. AI活用によるシニアのメリット

・お掃除ロボットによる家事支援／
・防犯カメラ、転倒検知等／
・銀行業務、市役所、ケアマネ等との連絡支援／
・趣味、学習に関する情報収集等

7. AIを活用し活躍しているシニア

・NHKTVにも出演したことのある若松正子さんは1935年生まれの90歳ですが、銀行を定年退職された後、趣味としてパソコンを始め、独学でプログラムを習得し、シニア向けアプリを開発されたそうです。

代表作は「hinadan」(雛壇)と「nanakusa」(春の七草)。

アップルの開発者カンファレンス「WWDC」に招待されCEOのティム・クック氏とも対談されています。

現在は、全国各地での講演活動のほか、政府の「デジタル政策会議」のメンバーも務められています。

以上



姫路支部

姫路支部長 大29 黒田 俊行

姫路支部総会

2024年11月2日(土)にホテル日航姫路「桃李」にて、令和6年度の姫路支部総会を開催いたしました。神戸支部長平林義康様と和歌山支部長山中盛義様、大阪支部幹事長平野勝久様、そして本部事務局より柏木俊樹様と4名のご来臨を賜り、支部から経済学部11名、教育学部2名の参加を得ての開催となりました。最初に物故者への黙祷をささげたのち、ご来賓の皆さまからご挨拶を頂戴しました。そして、事業報告(右記参照)と会計・監査報告で無事議事を終了。

引き続き恒例の「ミニ講話」、今回は橋本徹也会員(経大31期)に「自動車部の思い出」と題したお話をいただきました。ラリー競技への出場や山岳ドライブの話、また橋本会員にとって自動車部時代の先輩である山中支部長のエピソードも交えて興味深い講話となりました。お二人には当時の懐かしいお話を有難うございました。

ミニ講話の後出席者全員で記念撮影、そして懇親会の開宴です。美味しい中華料理と紹興酒を堪能しながら、これも恒例となった出席者の皆さんからの近況報告を交えながら、会員各位の最近の出来事や活動、さらには和歌山時代の思い出等話は尽きず、あっという間に予定の2時間が過ぎました。最後は輪になり肩を組んで寮歌「花の霞に」を合唱の後、翌年の再会を誓って散会となりました。

記

- R5 11/4 令和5年度支部総会:ホテル日航「桃李」17名出席(内来賓2名)
- R6 1/14 神戸支部・大阪支部合同新年会:「楠公会館」 毛利前支部長、黒田出席
- 5/18 定例理事・評議員会:「大阪ガーデンパレス」 黒田出席
- 7/8 神戸支部総会:「楠公会館」 黒田出席
- 8/3 支部三役会:キューエル「ベランダ」5名出席
- 9/6 支部幹事会:ホテル日航「セリーナ」8名出席
- ※3/2・9/21 オンライン支部長会 黒田参加

以上



北 陸 支 部

北陸支部長 大41 林 国敏

支部総会開催

北陸支部総会は2024年11月9日(土)に金沢市内で開かれた。

本部事務局から柏木さん、東海支部からは伊藤さんが参加してくださり、5名で開催となった。林支部長(41期)から冒頭あいさつがあり、一年ぶりの再会を喜び合った。初参加した、柏木、伊藤両名には、北陸支部のこれまでの歩み、今後の課題などを聞いてもらい、それに対して東海や各地の取り組みなどが紹介された。懐かしい学生時代の話に花が咲き、活発な意見交換が行われ、盛況のうちに次の再会を

約してお開きとなった。

※総会から半月後に参加者である角田前支部長が突然ご逝去されました。これまで20年以上北陸支部長を務められ、長年北陸支部を支えてくださった大功労者、角田さん。長い間、本当にありがとうございました。心よりご冥福をお祈り致します。



Pasco

小麦本来の
おいしさ。

敷島製パン株式会社

代表取締役副社長

田中 正樹 (大21)



徳島支部

幹事長 大36 三村 清美

令和7年度徳島支部総会の開催

令和7年6月28日(土)、徳島駅前ホテルアストリアにて開催しました。

暑さを回避するため日程を6月にするも、例年より早い梅雨明けにより33度の夏日の中での開会となりましたが、当日は本部事務局から柏木氏の参加を得、野田芳治(大3)氏を筆頭に吉永真理子(大51)氏まで幅広い年齢層の会員11名が出席しました。

徳島支部長多田明弘(大26)氏の挨拶の後、議事に入り、前年度会計や年会費本部一括請求の報告を行うとともに、今年度の事業計画について会員の意向に沿う方向で運営することを申し合わせました。加えて2026年の柑芦会設立100周年に際し、徳島支部基金から寄付を行う会員提案が、全員一致で可決され、



ご出席の柏木氏へ申入れしました。この後、懇親の部に移り、柏木氏来賓挨拶の後、次々に会員が近況を報告しました。

恒例の卓話では、中村昌宏(大13)氏による「中小企業診断士が読む徳島新聞とくしま経済ほか」や魚野幸弘(大9)氏による「平和の日(徳島市条例案)の活動」などのお話を頂き、徳島県の歴史から将来を考える有意義な時間となりました。

また今回は、本年1月の感染症流行により延期された新年勉強会での講義予定「天下人阿波国戦国武将三好長慶、三好実休」について、徳島経済同友会春藤勝弘(大33)氏より講話頂きました。史実資料をもとにした仮説であり、会員の多くが強い感銘を受け「郷土徳島に対する強い思い」を再共有することが出来ました。

予定時間2時間を40分超過する盛況ぶりで、来年度の開催を約束し和やかなうちに無事総会を終え散会しました。



夫馬税理士事務所

夫馬税理士事務所
大阪市浪速区元町2丁目6-11
ビルディング元町602
税理士 夫馬 竜司
TEL: 06-6644-3720
FAX: 06-6644-3721

超硬合金とスプレーノズルの製造販売

EVERLOY

株式会社 共立合金製作所
KYORITSU GOKIN CO., LTD.

取締役会長 松本康三(大11回)

<https://www.everloy.co.jp/>

本社・工場 / 〒663-8211 兵庫県西宮市今津山中町12番16号
TEL(0798)26-3606(代) FAX(0798)26-0544
超硬事業部柏原工場 / 〒669-3315 兵庫県丹波市柏原町大新屋100-1
TEL(0795)73-0026(代) FAX(0795)70-2120
ノズル事業部柏原工場 / 〒669-3315 兵庫県丹波市柏原町大新屋95-2
TEL(0795)72-3374(代) FAX(0795)72-3376
支店・営業所 / 西宮・大阪・東京・九州・倉敷・名古屋
関係会社 / 株式会社 九州エパーロイ

香川支部

香川支部相談役 大22 島田 新市

令和7年度香川支部総会開催

令和7年度香川支部総会を令和7年7月17日(木) 18時30分から高松市西の丸町海鮮居酒屋「神童ろ(わらじろ)」で開催しました。

当日は西日本で線状降水帯が発生するなど交通機関も乱れる中、大阪方面からはご来賓に柑芦会前会長の北村顧問、柑芦誌の穂永編集委員長、神戸支部の平林支部長にご臨席賜りました。また、当支部会員は50代から80代まで8名、合計11名の総会となりました。



なお、当支部総会は例年、日曜日にイベントを伴うランチ形式でしたが、今年は費用を抑えるとともによりコミュニケーションが図れるよう10数年ぶりに夜の飲み会形式に変更いたしました。

総会では役員改選につき承認され、私は7年間務めさせていただいた支部長を退任、後任には副支部長の31期梶正司氏が就任されることとなりました。

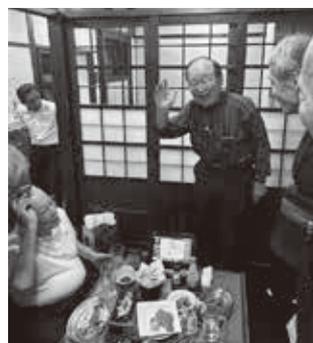
総会は短時間で終了、梶新支部長の発声で乾杯、懇親会に移りました。

北村顧問からは香川支部運営に対する激励のお言葉と来年の柑芦会百周年記念行事についてご紹介いただきました。また、穂永編集委員長、平林神戸支部長からもご挨拶いただき、その後は皆さん食べながら、飲みながら、お酒も入って例年とは一味違った、少し騒々しいものの和やかな雰囲気の中で年代により高松と栄谷という違いはあるものの「和歌山」という共通項で話の花が咲きました。

中締めは山上相談役の一本締め、最後に寮歌「花の霞に」を少し声を抑えて歌い名残惜しくもお開きとなりました。



香川支部は小規模支部の持ち味を生かし、会員同士の触れ合いの場になればと願っております。皆様方には今後も変わらず香川支部運営にご指導ご支援賜りますようお願いいたします。



(北村顧問は大阪から日帰りで)



(梶支部長)

会計監査・税務及び経営コンサルティング

名尾公認会計士事務所

公認会計士 名尾 邦博 (大18回)
税 理 士

〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-5-22 第3新大阪ビル3F

TEL 06-6305-9731 FAX 06-6305-9733

E-mail naocpa@qk9.so-net.ne.jp

退任のご挨拶

香川支部 前支部長 大22 島田 新市



私の柑芦会とのご縁は平成10年46歳の時、幹事を仰せつかりその後副支部長を経て平成30年から7年間支部長を務めさせていただきました。この度、令和7年度総会をもって退かせていただきましたが、この間、柑芦会本部はじめ関係各位には

一方ならぬご指導ご支援をいただき厚く御礼申し上げます、ありがとうございます。

香川支部は小規模支部ですが、かつては20名程度が総会に参加していた時期もありました。その後支部会員数は増加傾向にあるものの総会参加者は減少し、にぎわっているとは言えない状況でした。

かく言う私も若いころは決して積極的に柑芦会活動に参加したとは言えず、偉そうなことは言えないのですが、個別に不参加の理由を尋ねると「仕事、家庭が忙しく時間がない」との回答がほとんどです。本音で言えば、「自分にとって柑芦会の優先順位が他のことに比べて高くはない」ということではないかと思えます。

そのため、まずは香川支部総会を単なる議事決定や昔の思い出に浸るだけの場ではなく、参加者にとって興味深い情報交換や同窓生との交流の場にして、幅広い世代の会員にとっての優先度を上げられないかと考えました。折しも本部大でも支部活性化支援のための組織が立ち上がり、小規模支部の共通の悩みである資金不足についてもこれまで以上の支援を戴けることになりました。

そこで当支部の取組として

- ① 会員名簿、特に携帯・メルアドを調査整理し会員の現状を把握、こまめな連絡を心掛ける、
- ② 支部活性化支援委員会の支援の下、支部総会に

おける講談や講演、現役学生招聘などイベントを実施し参加の動機付けをはかる、

- ③ 一方、参加会費を抑える等、当面の間は総会参加の呼び水施策を実施、

などにより、とにかく一度は総会に参加してもらうことで柑芦会を知ってもらうことを目指しました。

その結果、近年はご来賓も含め15名前後の参加を見ることができ支部役員の皆さんの努力が少し報われたような気がします。

今後は本部大での名簿管理や集金代行、本部情報・冊子の直送・デジタル化など支部の事務負担軽減を進めていただいているところであり、一方、本部大の財政問題もあり、当然地方支部においてもこれまでよりは自立した活動が必要となりました。今後はより自然体での取組を目指してゆかねばならないと感じております。

まだまだ、私の力不足で、香川支部活性化には程遠い状況ですが、これまで支部活性化のため費用面での支援はもちろん、支部運営についてご指導、ご支援いただきました柑芦会本部、北村前会長、平林神戸支部長、辻元支部活性化支援委員会委員長、各支部支部長・幹部の皆様にはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

私の後任としては、支部活動は私より経験豊富で、そして名門高松商業高等学校校長として、また、県教育委員会で要職を務められたリーダーシップのある31期梶正司さんが引き受けてくださることとなりました。

皆様方にはこれまで同様、香川支部運営につきましてご指導、ご支援賜りますようお願い申し上げます、退任のごあいさつに代えさせていただきます。

皆様誠にありがとうございました。

香川支部長就任のご挨拶

大31 梶 正司



この度、柑芦会香川支部の支部長を務めることになりました梶正司と申します。どうぞよろしくお願いたします。経済学部31期経営学科の卒業です。在学中は商業科教員養成課程に在籍し、卒業後は香川県での商業科教員の道を選びま

した。昭和58年4月卒業と同時に香川県立坂出商業高校に奉職し、令和3年3月香川県立高松商業高校の校長を最後に定年退職し38年間の教員生活を送りました。昨今、教師という仕事はブラックと揶揄され、職業として選ぶ方も減少しております。私自身、確かに苦しいと感じることは何度もありましたが、それ以上に素晴らしい生徒たちとの出会いを通して、達成感ややりがいを感じるの方が多かった教員人生だと思っております。和歌山大学のこの課程が、今どうなっているのかと、ホームページを拝見したところ「令和4年度以降の入学者は、商業科教員の免許状を取得することができません」とあり、驚きました。これも時代の流れなのかと思いますが大変残念に感じております。県立学校退職後は、地元の私立大学・短期大学で非常勤講師を務め、商業科教育に励んでおります。

香川支部では、これまで、島田前支部長をはじめ諸先輩方が支部活性化のため、様々な取組みをしてこられました。具体的には、会員が支部総会に参加しやすくするために昼間開催にし、車での参加が可能なようにアルコールの提供は控えました。さらに会員が興味関心が持てるような講演会や講師を招いての講談会の開催など、楽しいイベントの開催などを実施してきました。こうした取組みの積み重ねにより、支部総会への参加者も少しずつ増えては来ましたが、若手会員の参加が定着するには至っていないのも実情です。

今年、8月初旬、大学時代に所属していた合気道部の同期会が大阪で開催され、男女12名の元部員が集い、楽しい時間を過ごすことができました。他県から参加したのもおり、私もわざわざ四国から参加しました。こうしたOB会や同期会は、比較的参加数も多く、様々なグループで行われているのではないかと思います。苦楽を共にした仲間はすぐに打ち解け、40年以上経っても、一瞬で昔に引き戻され、楽しい時間を過ごすことができるからでしょうか。

一方で、香川支部総会は、元々つながりが薄いものが、香川に住所をもつというだけで集まる会合です。昔は、この薄いつながりでも、多くの会員が集まったのですが、今は、仕事や日常が忙しい中、わざわざ時間を割いて、しかも会費を払ってまで参加していただくのを期待するのは難しいのではないかと考えられます。この状況は、香川支部に限らず、どの支部、どの学校の同窓会でも似たり寄ったりではないかと推測いたします。

今年の香川支部総会は、久しぶりにアルコール付きの宴会形式で開催しました。本部からは元会長の北村顧問様、穂永柑芦編集委員長様、神戸支部からは平林支部長様のご出席をいただき11名が集まりました。その総会で、歴史ある香川支部の支部長をお受けすることになりました。

幸いにも、香川は日本一小さく宿泊なしで集まることができるという地の利があります。そして、現在、協力的な若手会員が頑張ってくれています。この方々とのつながりを大切にして、参加、定着していただける会員を1名ずつからでも掘り起こしたいと思います。当面の目標は「継続と存続」です。柑芦会本部、各支部におかれましては、今後とも香川支部に対する変わらぬご指導ご支援をお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

広島支部

広島支部長 大45 三吉 規央

令和6年度広島支部総会開催

令和7年1月19日の日曜日、広島支部では大竹市に新しく開館した『下瀬美術館』において、ランチミーティングとして支部総会を開催いたしました。垣見会長を迎え、ミーティング後は美術館の学芸員に館内を案内していただきました。

美術館にあるレストランで、会長を交えた4名で2時間あまり柑芦会と広島支部の今後のことについて話し合いましたが、話題の尽きないことでありました。

広島支部の目下の懸案事項は、柑芦会本部から求められている会費の全国統一化によって、年会費が千円から三千円に上がってしまうこと。広島支部としては年間千円で十分なのですが、全国統一会費徴収システムを稼働する方針の本部は、全国会員から本部会費を徴収したい意向です。

柑芦会そのものの懸案は収入を確保すること。入学時会費の未納学生と免除されている外国人学生からもしっかり徴収しないことには何も始まりません。

そもそも柑芦会の資金はどこから来ているのか？
毎年の基本収入は入学時会費です。

それでは1億円を超える資金は何故存在するのか？

現在ある資金は終戦後に外地で亡くなられた香村先輩の意思による未亡人からの寄附でした。柑芦会の資金は、歴史的に入学時会費と先輩方の篤志からであることが判ります。これからもそれは変わらぬであろうと思います。

次回は尾道市内の『なかた美術館』のレストランで令和8年1月に支部総会を開催する予定です。ランチミーティングが済みましたら、今回と同様にその学芸員に展示物を解説してもらいます。



写真：
4名(左から)
山元 経穂(49回)
富中 幹雄(19回)
垣見 会長(25回)
三吉 規央(45回)



税理士法人
坪内会計事務所

代表社員 坪内 隆 (大営21回)
公認会計士・税理士・行政書士

〒567-0885 大阪府茨木市東中条町1番5号
TEL (072) 622-0400 (代) FAX (072) 627-0022

坪内公認会計士事務所
総合コンサル株式会社
株式会社サポートイング

「和歌山大学学生挑戦コンテスト2024」審査会 開催

「和歌山大学学生挑戦コンテスト2024」の審査会は下記のとおり行われました。

日時：2024年12月21日(土)10:00～16:00

場所：和歌山大学北1号館第3会議室A101

応募状況：キャンパス向上部門14件、ビジネスアイデア部門10件、の応募があり、一次書類審査を通過した10件（各部門5件）が最終審査会（プレゼンテーション発表）に挑みました。

受賞者は下記の通りです。

<受賞者>

キャンパス向上部門

【優秀賞】

プラン名 「学内の実験協力者の募集に特化した掲示板アプリ」

代表者 システム工学研究科1年 大川 直

プラン名 「学内の掲示板のDX化を通じた、学生伝達情報の高付加価値化」

代表者 システム工学部4年 山野 夏

プラン名 「駐車場の一日利用券を販売しよう」

代表者 システム工学部4年 加藤 愛穂

ビジネスアイデア部門

【香村賞】

プラン名 「株式関係書類と株主優待券の電子化へ「e-stake」」

代表者 経済学部2年 宮田 大壽

【優秀賞】

プラン名 「急な雨への不安を解消! えきかさ!」

代表者 経済学部3年 泉 綾乃

【タイズ賞】(企業賞:株式会社タイズ様提供)

プラン名 「子どもたちの「やってみたい」が溢れて、それを叶えられるアプリ!」

代表者 システム工学研究科1年 丸山 聖也

【ラック賞】(企業賞:株式会社ラック様提供)

プラン名 「和歌山の秘めたる魅力発信プロジェクト!」

代表者 経済学部1年 中野 光鳳

【Relic賞】(企業賞:株式会社Relic様提供)

プラン名 「株式関係書類と株主優待券の電子化へ「e-stake」」

代表者 経済学部2年 宮田 大壽

【ネクストバッテリー賞】(EDC賞)

プラン名 「株式関係書類と株主優待券の電子化へ「e-stake」」

代表者 経済学部2年 宮田 大壽



キャンパス向上部門



[プラン名]

学内の実験協力者の募集に特化した掲示板アプリ

システム工学研究科1年／大川 直、鯨 幹人
システム工学部4年／佐藤 照仁

〈背景〉

大学では多くの学生が卒業研究を行っており、アンケートや実験協力が必要なケースが頻繁にあります。しかし、協力者を募集できる範囲は多くの場合、学生が所属するコミュニティに依存するため、協力者を集める際に大きな負担となります。このため、協力者を募るための労力や時間がかかり、研究進行に支障をきたすこともあります。また、研究室や専攻が決まっていない学生の多くは専攻や研究室選びの参考になる情報を欲しており、実験に興味を持ちながらも、実験参加に対するハードルを感じており、参加しにくい問題があります。

〈目的〉

以上のような背景から、実験やアンケート協力者募集の負担を軽減するアプリの開発を企画しました。アプリを通じて実験への参加を促進し、学生の研究活動をサポートすることを目的としています。

〈サービス概要〉

SNSのように大学内で行われる実験を投稿・閲覧でき、参加申請ができる掲示板アプリです。実験募集者は所属研究室などの情報と実験概要について記載し、投稿します。協力者は投稿されている研究の中から、自身が興味を持った内容の実験に対して協力申請を送ります。その後は募集者と協力者間で連絡を取り、実際に実験やアンケート調査を行います。これにより、気軽な実験参加を促します。



イメージ図



FMSのパートナー

株式会社 白山機工

相談役 ^{あき} 穂 田 外志雄 (大19回)
顧問 ^た 白 石 晴 久 (大19回)

本社工場 石川県白山市旭丘4丁目10番地 〒924-0004
TEL.076-275-6631(代) FAX.076-276-8371



優秀賞

[プラン名]

学内の掲示板のDX化を通じた、 学生伝達情報の高付加価値化

システム工学部4年／山野 夏、阿野 寛人
システム工学部3年／溝畑 陸人、吉原 大悟

〈背景と目的〉

○大学からのメールの視認性の低さ

大学は学生のために、多様なイベントやセミナーなどの情報をメールで発信しています。しかし、メールアプリを開くと、件名が一目でわかるようにはなっておらず、さらに大量にメールが届くことで、学生は「どうせ自分には関係ない」と流し見をすることが増加していました。その予防に発信されるリマインドも、メールの増加に拍車をかける悪循環となっていました。

○掲示板の活用に関する現状

広告掲載を行っている掲示板は現状、利活用されているとは考えづらい状態でした。このままでは、大学が発信してくれた情報に対して、学生が知る機会を失い続けてしまいます。また、大学にとっても広告掲載枠による収益機会の損失が考えられます。

そこで、メール以外の手段でリマインド効果を高める必要性と広告掲載を上手く活用する必要があると考えました。

〈提案概要〉

目的を達成するため、デジタルサイネージを利用し、掲示板のDX化を提案します。

この提案により、学生側のメリットには次の2つが挙げられます。1つ目は、メール以外の方法であり、また大学などで移動しているだけで目に留まるため、重要な通知に気づききっかけが増えるという点です。2つ目は、大学からの重要な通知がない場合、デジタルサイネージ上で、就活情報などの有益な情報を取得することが可能になる点があります。

また、大学側のメリットにも次の3つが挙げられます。1つ目は、紙を利用した掲示板やテキストが基本のメールとは異なり、動画の利用が可能であることから、高い広告効果を利用し、学生への周知のしやすさと収益の増加が考えられます。2つ目は、掲示板とは異なり、印刷・設置といった事務作業の削減が考えられます。そして、紙の印刷が必要でなくなることから、ペーパーレス化に貢献できる点も挙げられます。

このように、大学内にデジタルサイネージを導入することで、学生側および大学側の両方に大きなメリットがあると考えています。



キャンパス向上部門

優秀賞

[プラン名]

駐車場の1日利用券を作ろう

システム工学部4年／加藤 愛穂、弓場 陽月

〈背景〉

現在、駐車場は教職員、3年生以上、又は特別な許可を得た者が「定期券を購入」すると利用できる仕組みになっている。定期券は期間が半年と1年の2種類あるが、頻繁に車通学するわけではない生徒にとっては、これら長期間の定期を購入することに躊躇いがある。そのため、友人間での定期券の使い回しや、イオンに停める学生が現れる。

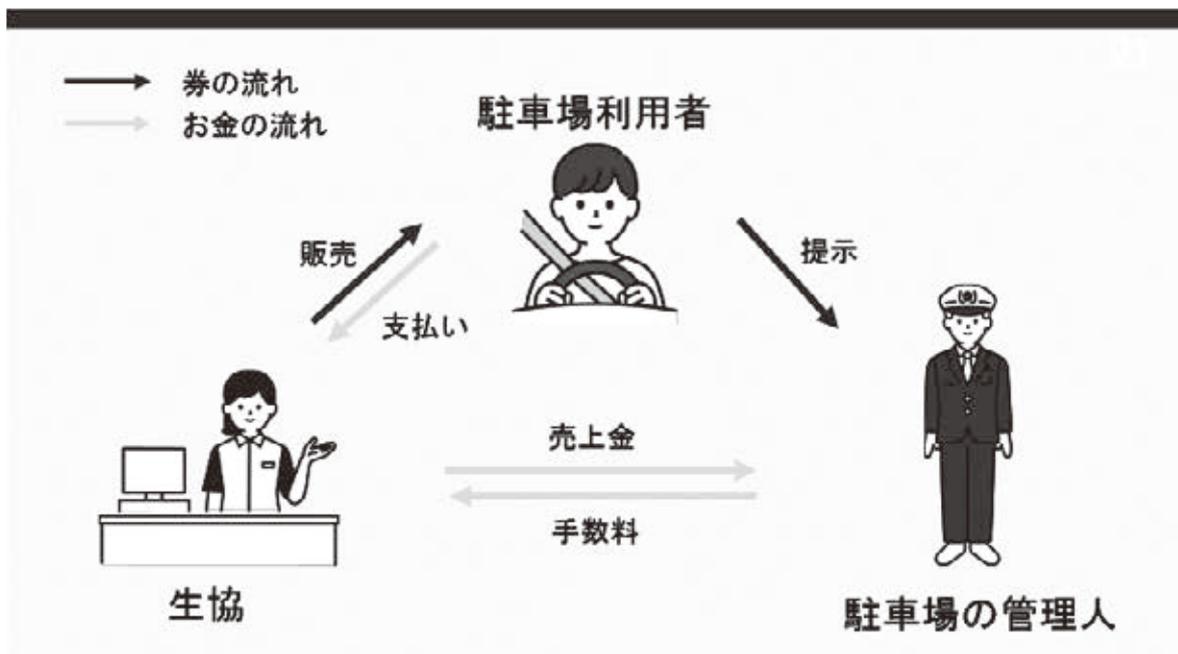
〈現状と課題〉

以上のことから、定期券を持たない学生が入構できる制度を作るため、駐車場の1日利用券の販売を提案する。新型コロナウイルスが流行した際に特別措置として、定期券を持たずとも入構できる時期があった。特別対応中と特別対応停止後の入構数を比較すると、少なくとも1日40人は入構を諦めていると考えられる。また、3年生以上の男女16人にアンケートを行ったところ、定期券を購入していない人

たちの8割が駐車場の一時利用をしたいと答えた。また、約7割が1日300円までなら利用したいと答えた。ここで、1日利用券を開始するために想定される問題として、駐車場不足やセキュリティ面が挙げられる。ある1週間の駐車場の空き状況から、平均して1日214台の空き駐車場があることがわかった。1日利用券の利用想定者数は40人なので問題なく利用できる。また、1日利用券利用者の駐車場を指定することで、特定の駐車場が混むことを防ぐ。続いて、セキュリティ面に関して、不審者が1日利用券を不正購入する可能性が考えられるが、券購入時に個人情報の登録と駐車場利用時に確認を行うことで不正利用を抑制する。

〈提案内容〉

駐車場利用者は生協で1日利用券を購入し、駐車場の管理人に券を提示することで入構できる。また、生協の手数を差し引いた売上金が駐車場の管理人へ支払われる。





[プラン名]

株式関係書類と株主優待券の電子化へ「e-stake」

経済学部2年 / 宮田 大壽

〈背景〉

新NISAが始まり、貯蓄から投資への流れが加速していく中で、実際に株式投資を始めて4年目の個人投資家の視点として、株式投資、その中でも株式関係書類と株主優待券という部分では非常に前時代的な仕組みが残っていることに気が付き、アイデアをブラッシュアップしていくにつれてビジネスチャンスがあると考えるに至り、立案した。

〈概要〉

個人投資家にはアプリを提供し、上場企業側には株主名簿に記載のある株主に一括で株式関係書類や株主優待券を送付できるシステムを提供する。

このモデルではまだ法律的制限を受けているかどうかについての確認が取れていないため机上の空論にはなるが、大きく分けて2つの収入軸を考えている。

①株主名簿管理人に対してシステムを供給し、電子化した株式関係書類や株主優待券を送付してもらう。この際、株主1人当たりの利用料を上場企業から得る。

②オンライン上での電子化した株主優待券の売買プラットフォームを併設し、売買成立時にシステム利用料を得る。

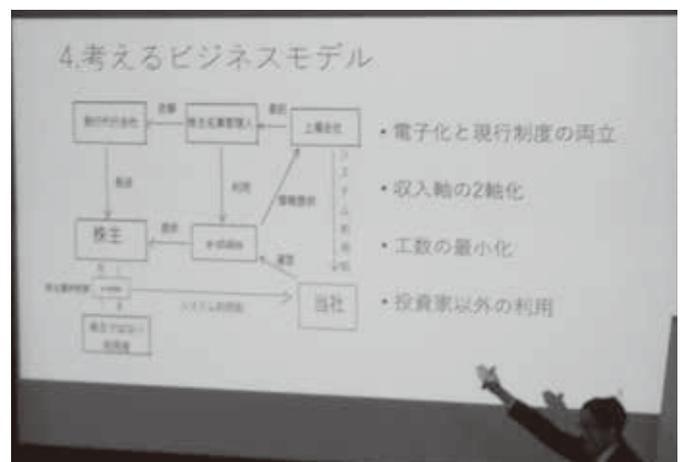
これらの株主優待券の一元管理と株式関係書類の一元管理を行うことで企業と投資家の利便性向上に寄与する。

〈詳細と展望〉

株式関係書類は法律により一部送付が強制されている。ここでは試算方法は省略するが、一部を除くほとんどは電子化が可能であり電子化可能なものを電子化した場合の削減可能額としては100億円以上であると試算し、ビジネスとして成り立つと考えた。

上場企業5社にヒアリングを行い、ボトルネックとしては高齢者対応と工数の増加というのが挙げられ、そうしたボトルネックを解消するために既存の方法と両立した上でのコストの維持を念頭に構築した。

今後は個人投資家からの需要の確認とより多くの上場企業へのヒアリングを通して社会実装に向けてアイデアのブラッシュアップと具体化を促進していく。



岩垣会計事務所

税 理 士 岩 垣 忠 裕 (院35)
中小企業診断士

〒542-0081 大阪府中央区南船場1丁目3番14号
ストークビル南船場10階
TEL (06)6266-9075
FAX (06)6264-5208

建設・補償コンサルタント



株式会社 岡本設計

〒640-8256 和歌山市土佐町 2-61-9
TEL (073) 426-3151 FAX (073) 426-3155

ビジネスアイデア部門



[プラン名]

急な雨への不安を解消! えきかさ!

経済学部3年/泉 綾乃、加藤 羽留佳、萱野 恭太、堀 伸行

〈着眼点〉

皆さんは傘を忘れて濡れて帰った経験や、電車や駅で忘れた物を取りに行かなかった経験はあるだろうか?私自身、帰宅時に急な雨で家まで濡れたことがある。また、電車での忘れ物を取りに行かなかったこともあり、調べたところ傘の忘れ物が最も多いことが判明した。そのため、駅で安価にて傘が手に入るサービスがあれば利用したいという想いから誕生したのが『えきかさ』である。

〈目的〉

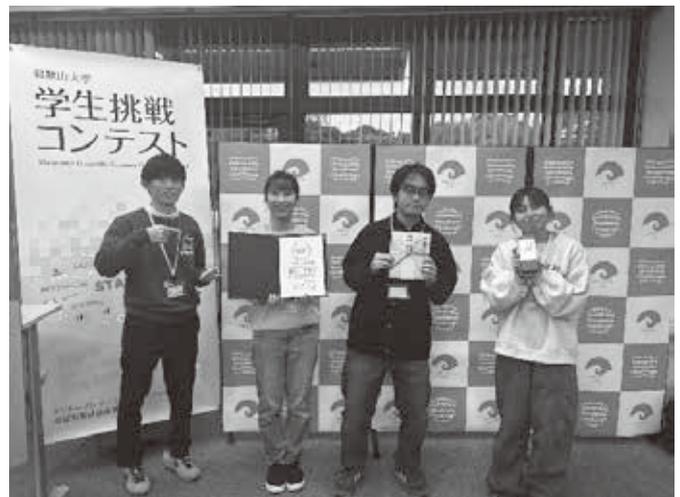
『えきかさ』の目的は、消費者・電鉄・社会の三者への利益還元である。忘れ物の傘を安価で販売することで、消費者は、雨や雪などの降水・降雪時に体や持ち物を濡らさずに帰路につくことができる。忘れ物の傘を再利用することで、電鉄は、廃棄コストを抑えることができる。社会には、SDGsの観点で貢献できる。提案する新たなビジネスモデルにより、傘の製造時や廃棄時に発生するCO₂の排出を抑えるとともに、資源の節約を目指す。

〈サービス概要〉

『えきかさ』とは、電車や駅で忘れ物となった傘を改札周辺にて安価で販売するサービスだ。ターゲットは帰宅中の大学生・社会人、コンセプトは「ガチャを回して気分晴れ!」とした。手順は、電車や駅での忘れ物の傘を回収し、傘を機械に設置し鍵をかけ、その鍵をガチャガチャに入れて販売するというものである。突然の雨に対して安価で傘を手で取り、老若男女問わずワクワクを楽しむことができる点が魅力ポイントである。『えきかさ』を通して、心が弾む瞬間を味わってほしい思いがある。

〈競合サービスとの差別化〉

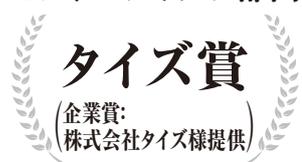
『えきかさ』の競合には、コンビニで販売される傘や、駅設置型の貸し傘サービスがある。コンビニ傘は手軽に購入できるが価格が高く、貸し傘は無料または低価格だが返却が必要である。一方、『えきかさ』は低価格かつ返却不要な点で差別化されている。また、ガチャガチャ形式にすることでワクワク感を提供し、楽しさと利便性を両立している点が強みである。



鵜島会計事務所
鵜島社会保険労務士事務所

税 1 行	級 F 政	理 P 技 書	士 士 士	鵜島信二(院34)
税 社 中	会 小 企	理 保 業	士 士 士	鵜島幸夫(大53)

〒641-0021 和歌山市和歌浦東3丁目2-78 山下ビル102号室
TEL (073) 448-2668 FAX (073) 448-2669



[プラン名]

子どもたちの「やってみたい」が溢れて、それを叶えられるアプリ

システム工学研究科1年／丸山 聖也、浦井 駆

システム工学部4年／石田 大翔、システム工学部3年／平川 大輝

〈背景〉

今回のチームメンバーと人生の振り返りを行った際、自分が主体的に動いているときに最も楽しかったという話が多くあった。子どもの頃に親の経済的な支援や、多くの機会提供のおかげで様々な体験ができ、自分が「やってみたい」と思ったことに挑戦や努力をすることができた。しかし、日本の子どもたちの「精神的幸福度」は非常に低いというデータが存在しており、子どもたちが前述したような主体的行動、あるいは興味による自己実現ができていない可能性を考えた。また、「興味」という点で現代の日本は情報技術として、興味を持ちそうな商品等を優先的に画面へ表示する「推薦システム」が身の回りに普及している。この類のシステムにより子どもたちを含む我々の興味は、気づかぬうちに意外性に乏しく視野の狭いものになっている可能性が考えられる。一方で、経済的に余裕がない家庭では、金銭的理由で体験の機会自体を得られていない子どもが多くいるというデータが存在する。以上より、より多くの子どもに

幅広い興味を発見してもらい、実際に体験する際の金銭的敷居が低いサービスを考案する運びとなった。

〈サービス概要〉

子どもたちの主体的な自己実現を支援するにあたって、段階を大きく2つに分けた。一段階目では子どもたちに幅広い興味を持ってもらうべく、農業やスポーツなどを実際に行っている様子が映った短い動画を複数用意し、子どもたちは気に入った動画があれば印を付けられる。印を付けた動画は親に共有され、子どもが興味を持った内容を把握することができる。二段階目では子どもたちが興味を持ったものを実際に体験することを支援する。用意する体験としては、まず後継者不足等に悩まされている方々と協力して利用者側の金銭的負担を下げたもので考えている。今後は体験の種類を増やしつつ、アプリの開発を進める予定である。



ビルメンテナンス

株式会社 南北

採用HPはこちら →



南北グループ

インテリア雑貨・家具
フォレストアクタスショップ

レンタルマット・介護用品レンタル
株式会社ケイ・コーポレーション

プロパティ・マネジメント
株式会社南北ピーエム

ビジネスアイデア部門



[プラン名]

和歌山の秘めたる魅力発信プロジェクト!

経済学部1年 / 中野 光凰

〈背景〉

私は兵庫県出身ですが、和歌山大学に入ってから生まれて初めて和歌山県に足を踏み入れました。それからまだ1年も経っていませんが、市内だけでなく南紀の方にも足を運んだり実際にこの土地で暮らしていくにつれて、和歌山県のことが本当に大好きになりました。また同時に、もっと評価されるべきスポットや世間に知られていないスポットの多さに気付きました。その理由は、SNSでは伝えきれていない情報や魅力があるからかなと考えました。例えば、和大的先輩方が起業されたカフェは間取り営業をされているからか、Google mapで調べても名前が出てこないのて遠くから来た人だとカフェの存在に気が付かないのではないかと思います。

〈概要〉

ウェブサイトを立ち上げ、そこに誰もがアクセス可能にして和歌山の良いところ情報をシェアできるようにする。投稿

すれば県内の店舗で利用できるようなポイントが貯まる制度を取り入れる。他のSNSとの差別化としては、インスタグラムやXだと必ずしも公式アカウントがあるとは限らないので店側からの直接的な情報の発信が少ないことが挙げられます。

〈見込める効果〉

和歌山のことをできるだけ多く深く知って頂ける場所として発展したらいいなと思います。人とモノの交流が活発化し、知られていなかった村の知名度上昇にも繋がるのではないかと考えます。高齢化が進み、和歌山の特産物を作る担い手の減少にもアプローチできるかもしれません。自然豊かで住みやすい環境と伝統ある食と歴史的文化遺産に魅せられて、和歌山に住みたいと考える若者の増加も期待できます。





高島工業株式会社

金属表面处理

METAL SURFACE TREATMENT



自動車や鉄道等の
乗り物の部品や
明石海峡大橋等の
建築物の部品にも
使用されています

取締役会長 高島政康 (大学14回)
代表取締役社長 高島政人 (大学41回)

本社工場：〒578-0914 東大阪市箕輪2丁目4番21号 TEL.072-963-6611(代) FAX.072-963-6615
八尾工場：〒581-0814 八尾市楠根町5丁目20番地 TEL.072-999-7800(代) FAX.072-998-0041
八尾第2工場：〒581-0815 八尾市宮町5丁目9番50号 同上 同上

<http://www.takashimakk.com>

The
CHOYA
JAPANESE UME FRUIT
LIQUEUR



梅の有機酸をまもる、
静かなる熟成

チョーヤ梅酒株式会社 代表取締役社長 金銅 重弘 (大27)

飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。お酒は楽しく適量を。

妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。 チョーヤ梅酒株式会社 www.choya.co.jp

和歌山大学同窓会 活動報告

和歌山大学同窓会長 岡村 周成

令和7年6月7日(土)、13時より和歌山大学南1号館共通会議室にて、第38回和歌山大学同窓会理事会を開催いたしました。(注)和歌山大学同窓会は、和歌山大学4学部(経済学部、教育学部、システム学部、観光学部)の同窓会で構成される全学の同窓会組織です。

付議した議題は以下の通りで、審議の結果、全ての議案が原案通り承認されました。

- 議 題
1. 令和6年度決算報告及び会計監査報告について
 2. 令和7年度予算案及び事業計画案について
 3. 和歌山大学同窓会会則の改正案について
 4. 役員の変更について
 5. その他

なお、令和6年度の主な事業は、以下のとおりです。

【会議関係】

- 2024年 6月 1日(土) 正副会長にて理事会事前打合せ
- 6月 1日(土) 理事会
- 8月 4日(日) 第1回正副会長会議(オンライン)
- 10月 6日(日) 第2回正副会長会議(オンライン)
- 11月 3日(日) 総会
- 12月15日(日) 第3回正副会長会議(オンライン)
- 2025年 2月 9日(日) 第4回正副会長会議(オンライン)
- 4月13日(日) 第5回正副会長会議(オンライン)



【学生の課外活動への支援】

第73回全日本大学野球選手権大会出場を果たした和歌山大学硬式野球部に対し、遠征費等の支援を行いました。

【各同窓会活性化支援】

各同窓会組織の活性化を支援いたしました。

【大学環境整備】

大学の環境整備に対し、支援を行いました。

【周年記念事業積立金】

令和11年度に大学創立80周年を迎えるに際し、積立をいたしました。

令和7年度の主な事業は、以下のとおりです。

【会議関係】

- 2025年 6月 7日(土) 理事会
- 2026年10月25日(土) 総会

正副会長会議は、昨年度同様2か月に1回の予定で開催し、次年度に向けた事業等について検討してまいります。

【学生の課外活動への支援】

今年度も課外活動団体・個人に対し、支援を行います。

【各同窓会活性化支援】

各同窓会同士の交流に対し支援を行います。

【周年記念事業積立金】

令和11年度に大学創立80周年を迎えるに際し、積立をいたします。

【会則の改正】

6月7日開催理事会において、会則を改正し、役員のスリム化、理事会構成員の明確化、正副会長会議の規定化、同窓会費の見直しをいたしました。

和歌山大学基金へのご協力のお願い

和歌山大学基金室

和歌山大学では「未来を切り拓く知の舞台」としての総合大学を目指すべく、現在さまざまなチャレンジを続けています。経済学部をはじめ、教育学部・システム工学部・観光学部、そして社会インフォマティクス学環の四学部一学環では、若者たちを鍛え社会に送り出す使命を果たすべく、明確なビジョンと戦略をもって体系的な教育課程を編成し、将来の社会の担い手となる人材養成に努めています。

学生たちにとっての大学での学びは、教室や研究室の中にとどまりません。たとえばクラブ・サークル活動においては、異なる専門職を目指す学生が、先輩・後輩・同期の仲間たちとともに人間関係を構築し、同じ目的で知恵と力を結集し、日々研鑽を進めています。また、学生が世界を知り、多様な文化や価値観を尊重することも重要です。本学では、令和6年度より塚本治雄国際交流基金を創設し、学生の海外留学支援をはじめ、国際社会の発展に貢献するためのキャンパスのグローバル化を推進しています。

さらに、和歌山大学において教育・研究とともに重視しているのが、地域に根ざした社会貢献です。大学は、学生や教職員がともに輝く知の拠点であり、社会に応用・活用されていく財産を持っています。和歌山大学は地域社会と連携し、地域課題に地道に取り組むことにより、地域社会との信頼関係を構築してきました。今後は、協働・協力により得られた成果を結集し、教育・研究の力をもとに、より社会の要請に応じる「地域社会と共存共栄したバリューチェーンの創造」を目指し、学生や教職員、そして地域が育つ大学へと成長していきます。

このように、大学の多様な活動が維持され、発展していくためには、財政基盤の強化・充実が不可欠です。和歌山大学では、急速な社会変化に対応し続ける現状において、学生支援や教育研究支援を中心に、これまで和歌山大学の約5万人にもおよぶ卒業生、そしてご家族の皆様方や地域の皆様方のお力をいただきながら、活動をさらに活性化させていきたいと考えています。そのためには、教育・研究の質の向上及び学生の学び、社会・地域貢献活動の充実を図ることを目的として設立した基金制度を活用させていただき、和歌山大学のさらなる活動の発展に力を注いでいきたいと考えています。

ご理解とご支援をいただいた基金につきましては、皆様のご期待に沿うよう、和歌山大学の活動の更なる発展に活用させていただきます。ご支援のほど、なにとぞよろしくお願いいたします。



和歌山大学基金に関するお問い合わせ先

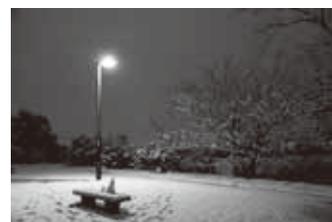
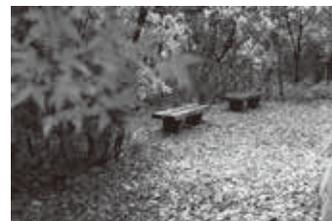
本学担当者までお気軽にご相談ください

和歌山大学基金室

〒640-8510 和歌山市栄谷930

TEL.073-457-7089

E-mail : kikin@ml.wakayama-u.ac.jp



基金による事業計画

大学活動支援基金(使途特定なし)

○大学全体のために活用します。大学の財務基盤を安定させ、柔軟に活用ができます。例えば、大学をあげての教育・研究・地域貢献に係るプロジェクト支援、キャンパスの環境整備など

特定目的支援基金(使途特定あり)

●支援プロジェクトごとに、使途を特定して募集を行っています。

- ◆災害支援事業
災害ボランティア派遣や教育に対する支援
- ◆グローバル人材育成支援事業
海外派遣学生への支援などのグローバル人材育成支援など
- ◆学生諸活動支援事業
課外活動が円滑に行えるよう施設・設備の整備や備品の支援など
- ◆教育振興支援事業
先進的・先端的な学問分野の教育支援など
- ◆研究活動支援事業
産業創生や高い社会貢献が期待される研究活動支援など
- ◆地域共創支援事業
地域をフィールドとした学生の教育研究活動支援など
- ◆アントレプレナーシップ人材育成支援事業
アントレプレナーシップ教育の展開に係る活動支援

修学支援事業基金

授業料等減免事業、奨学金事業、留学支援事業、TA・RA事業

研究等支援事業基金

若手研究者などへの研究等支援

書面でのお申込み

振込用紙に必要事項をご記入のうえ、各金融窓口芳お振り込みをお願いします。

取扱金融機関

三井住友銀行和歌山支店	普通	7022033
三菱UFJ銀行和歌山支店	普通	0006436
紀陽銀行紀の川支店	普通	784917
ゆうちょ銀行・郵便局口座記号番号		00990-1-284256

クレジットカード決済

<https://www.wakayama-u.ac.jp/fund/application>

『和歌山大学基金』で検索ください

遺贈寄附・生前寄附について

ご遺志・ご希望に沿って活用できるよう、思いに寄り添いお話を伺います。いくつかの税制上の優遇措置もございます。本学担当者まで、お気軽にご相談ください。

感謝

和歌山大学基金に個人10万円・団体30万円以上ご寄附いただいた方に銘板を作成し、大学本部1階玄関ホールに設置いたします。また累計100万円以上ご寄附いただいた個人の方におかれましてはゴールドの銘板を、団体におかれましてはシルバーの銘板を設置いたします。
*ご寄附金額は累計されます。

令和6年度 就職状況調査

項目	就職者		進学者		自営業		その他		合計(卒業者数)		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
経済学部	182	89	2	2	2	0	16	9	202	100	302
	271(89.7%)		4(1.3%)		2(0.7%)		25(8.3%)				

※進学者の内訳

※令和7年3月26日現在

【大学院進学2(男1/女1)・専門学校2(男1/女1)】

※その他の内訳

【就職活動中8(男7/女1)・公務員試験再受験4(男3/女1)・アルバイト・パート0(男0/女0)・その他13(男6/女7)】

内定率=就職決定者(就職者+自営業) / 就職希望者(就職者+自営業+就職活動中)=273/281=97.2%

業種別就職先

◆農業・林業=1名

ノーザンファーム

◆建設業=9名

セキスイハイム近畿株式会社
パナソニックホームズ株式会社
株式会社きんでん
株式会社東組
鹿島建設株式会社
生和コーポレーション株式会社
太陽工業株式会社
大和ハウス工業株式会社

◆製造業=47名

キューピー株式会社
ケンコーマヨネーズ株式会社
サントリーホールディングス株式会社
ハウス食品株式会社
ヒガシマル醤油株式会社
ミヨシ油脂株式会社
株式会社シュクレイ
株式会社ダイショー
株式会社ニッポン
森永製菓株式会社
株式会社クラウン・パッケージ
株式会社トッパングラフィックコミュニケーションズ
キッセイ薬品工業株式会社
ニチレキグループ株式会社
ニッタ株式会社

バンドー化学株式会社

荒川化学工業株式会社

株式会社ノーリツ

株式会社淀川製鋼所

三菱電線工業株式会社

住友電気工業株式会社

川田工業株式会社

日本ハードメタル株式会社

NTN株式会社

THK株式会社

株式会社島精機製作所

株式会社日本技術センター

島津システムソリューションズ株式会社

東洋ライス株式会社

株式会社国際電気

三菱電機株式会社

池上通信機株式会社

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

富士電機株式会社

理研計器株式会社

NOK株式会社

ダイハツディーゼル株式会社

ダイハツ工業株式会社

極東開発工業株式会社

日産自動車株式会社

NIPエンジニアリング株式会社

ゴウダ株式会社

株式会社オカムラ

◆電気・ガス・熱供給・水道業=1名

関西電力株式会社

◆情報通信業=33名

NCDソリューションズ株式会社
アクティス・ジャパン株式会社
イーソル株式会社
エムオーテックス株式会社
オリックス・システム株式会社
ビジネスエンジニアリング株式会社
ユニアデックス株式会社
りそなデジタル・アイ株式会社
レバレッジズ株式会社
株式会社KDC
株式会社PLMジャパン
株式会社TOKIUM
株式会社アール・エム
株式会社アクアスター
株式会社エイチーム
株式会社エクサ
株式会社エクス
株式会社コア
株式会社ザ・ワークスホールディングス
株式会社サイバーエージェント
株式会社システムインテグレータ
株式会社テラスカイ
株式会社テレビ和歌山

株式会社レタス
株式会社愛媛朝日テレビ
株式会社東邦システムサイエンス
株式会社日本総合研究所
紀陽情報システム株式会社
兼松エレクトロニクス株式会社
双日テックイノベーション株式会社
日本コンピューターサイエンス株式会社

◆運輸業・郵便業=6名

株式会社サカイ引越センター
株式会社西濃運輸
株式会社中国バス
株式会社二葉
商船港運株式会社
西日本旅客鉄道株式会社

◆卸売業・小売業=34名

テレック株式会社
トラスコ中山株式会社
ユアサ商事株式会社
リコージャパン株式会社
外山産業株式会社
株式会社スズキ自販和歌山
株式会社ネクスティエレクトロニクス
株式会社マクニカ
株式会社ヨコハマタイヤジャパン
株式会社レスターエンベデッドソリューションズ
株式会社山善
株式会社徳岡
岩谷産業株式会社
兼松株式会社
光陽商事株式会社
江綿株式会社
堺商事株式会社
小津産業株式会社
東果大阪株式会社
日本ウエイン株式会社
福西電機株式会社

まいばすけっと株式会社
株式会社NAAリテイリング
株式会社あさひ
株式会社ゲオホールディングス
株式会社しまむら
株式会社ネクステージ
株式会社ミラタップ
株式会社ヨドバシカメラ
株式会社松源

千和平商事 生花ちわひろ

◆金融業・保険業=47名

きのくに信用金庫
株式会社みなと銀行
株式会社りそな銀行
株式会社岡三証券グループ
株式会社関西みらい銀行
株式会社紀陽銀行
株式会社佐賀銀行
株式会社三井住友銀行
株式会社三菱UFJ銀行
株式会社十八親和銀行
株式会社商工組合中央金庫
株式会社但馬銀行
株式会社池田泉州銀行
株式会社南都銀行
株式会社日本政策金融公庫
三井住友信託銀行株式会社
新宮信用金庫
大阪信用金庫
浜松磐田信用金庫
和歌山県信用農業協同組合連合会
三井住友海上火災保険株式会社
住友生命保険相互会社
損害保険ジャパン株式会社
日本生命保険相互会社

◆不動産業・物品賃貸業=11名

ケイアイスター不動産株式会社

ミサワホーム不動産株式会社
株式会社TAKUTO
株式会社ファミリーコーポレーション
株式会社フロンティアホールディングス
株式会社東京日商エステム
近鉄不動産株式会社
東急リバブル株式会社
オリックス自動車株式会社
キリックスリース株式会社

◆学術研究・専門・技術サービス業=8名

AKKODiSコンサルティング株式会社
EY新日本有限責任監査法人
あすか税理士法人
株式会社エフアンドエム
株式会社日本経営
株式会社乃村工藝社
税理士法人マネジメントデザイン

◆宿泊業・飲食サービス業=2名

株式会社グリーンハウス
有限会社ホテルテトラ

◆生活関連サービス業・娯楽業=4名

株式会社STARTO ENTERTAINMENT
株式会社クリスタルインターナショナル
株式会社ブレイザーズスポーツクラブ
名鉄観光サービス株式会社

◆教育・学習支援業=3名

国立大学法人和歌山大学
福岡県立小倉商業高等学校
学習塾リヒトシユール

◆医療・福祉=3名

一般財団法人住友病院
日本赤十字社和歌山医療センター
全国健康保険協会

◆複合サービス事業=5名

いずみの農業協同組合
わかやま農業協同組合
紀北川上農業協同組合

大阪泉州農業協同組合

◆サービス業=20名

Evand株式会社

JR西日本フィナンシャルマネジメント株式会社

ギブクリエーション株式会社

マンパワーグループ株式会社

株式会社Enrich MR Holdings

株式会社ウィルオブ・コンストラクション

株式会社クオレガ

株式会社グロップ

株式会社コプロ・ホールディングス

株式会社タイミー

株式会社フェローズ

株式会社リンクアンドモチベーション

株式会社顧問名鑑

共同エンジニアリング株式会社

総合警備保障株式会社

東洋テック株式会社

日本年金機構

◆公務=39名

警察庁 近畿管区警察局

厚生労働省 大阪労働局

厚生労働省 兵庫労働局

国税庁 大阪国税局

国土交通省 近畿地方整備局

国土交通省 四国地方整備局

大阪地方裁判所

和歌山地方裁判所

和歌山地方法務局

羽曳野市役所

紀の川市役所

京都府庁

橋本市役所

熊取町役場

堺市役所

上富田町役場

盛岡地区広域消防組合

大阪市役所

朝来市役所

奈良県庁

名古屋市役所

和歌山県庁

和歌山市役所

和泉市役所

◆総計=273名

新刊書紹介

◆経験から学ぶ人的資源管理〔第3版〕

著者:上林 憲雄/厨子 直之(和歌山大学経済学部教授)/森田 雅也

出版:有斐閣

発行日:2025年3月発行

価格:3,300円(税込)

◆地域に学ぶひとづくり: 和歌山・上秋津と大学との地域づくりからの発信

編著者:藤田 武弘/木村 則夫/大浦 由美(和歌山大学観光学部教授)/岸上 光克(和歌山大学経済学部教授)

出版:筑波書房

発行日:2025年3月19日発行

価格:3,080円(税込)

◆法人税法 I 講義ノート

著者:山田 恵一(和歌山大学経済学部准教授)

出版:デザインエッグ社

発行日:2025年4月7日発行

価格:3,234円(税込)

現在の就職状況について

経済学部 准教授 本庄麻美子(46期)

和歌山大学経済学部の2024年度就職率は97.2%と、前年の98.2%から1ポイント低下しましたが、依然として高水準を維持しています。大学全体での求人件数も増加傾向にあり、2023年度の約38,000件から2024年度には約43,800件に達しました。大卒求人倍率は、2023年度(2024年3月卒)は1.71倍、2024年度(2025年3月卒)は1.75倍、2025年度(2026年3月卒)は1.66倍と発表されています(リクルートワークス研究所2025)。

和歌山大学経済学部2024年度の主な業種別就職先内訳についてです。製造業47名(17.1%)と金融・保険業47名(17.1%)が同率で一番多い進路先となっています。次いでサービス業全般46名(16.7%)、公務39名(14.2%)、情報通信業33名(12.0%)となっています。

和歌山大学経済学部の和歌山県内への就職は2022年度44名(15.2%)、2023年度53名(19.1%)、2024年度54名(19.8%)と増加傾向にあります。これは、和歌山県庁への就職者が顕著に増えているという背景があります。2023年度、和歌山県は職員採用に「早期募集枠」(一般行政職は20名)を設けました。通常6月に1次試験を実施し最終結果を8月に発表をしていましたが、民間企業への人材流出を懸念し、3月に1次試験を実施し、最終結果を6月に発表するというものです。2024年度は「早期募集枠(一般行政職)」を50名へと拡大しています。

学生の就職活動も3年生夏からインターンシップや

仕事体験を通じて早期選考がスタートし、3年生12月と早期に進路が決定する例も増えています。一方で、恵まれた環境にあるからこそ「何とかなるだろう」と十分な準備をしないまま進路を選ぶ傾向も見受けられ、キャリア意識の差が課題となっています。

経済学部進路決定者対象に実施した「2024年度就職活動アンケート」によると、「定年まで勤め上げたい」と考える学生は22%に留まり、「10年未満で退職の可能性を検討している」と回答した学生が26%にのぼります。これは、転職が前提のキャリア観が広がりつつあることを示唆しています。一方、企業で人事・採用担当をされている卒業生の皆さまからは、いかに「定着」してもらうかが課題だと多くの声をいただいています。初任給の引き上げをはじめ、初期配属確約制度の導入や奨学金支援制度の充実と、創意工夫している企業が増えていることを実感しています。

【参考文献】

リクルートワークス研究所(2025)「第42回ワークス大卒求人倍率調査(2026年卒)」

https://www.works-i.com/surveys/item/250424_recruitment_saiyo_ratio.pdf

和歌山県職員採用サイト

https://pref-wakayama-recruit.jp/recruitment_exams/



なんば道頓堀ホテル

〒542-0071 大阪府中央区道頓堀2-3-25

宴会予約(大中小宴会場)

06-6213-3444

飲み放題込み、3時間
¥6,000.-

場所：地下鉄・なんば駅から北へ徒歩5分

和歌山大学 役員及び事務局紹介(2025年7月現在)

学長	本山 貢	
理事(教育、入試、企画、総務)・副学長	添田 久美子	
理事(学生、研究、国際交流)・副学長	野村 孝徳	
理事(財務、施設、ガバナンス強化)・副学長	松本 吉正	
理事(産学連携(研究))	岩田 勝吉	
理事(産学連携(教育))	山形 伸生	
事務局次長	南方 伸之	経済学部37期生
企画課長	小田 沙織	
総務課長〔併任〕	南方 伸之	経済学部37期生
人事労務課長	金谷 輝夫	
財務課長	櫻井 勝英	
施設整備課長	藤川 伸一	
研究・社会連携課長	中井 邦昭	
参事役(社会連携室長)	長谷 浩	経済学部36期生
学務課長	藤原 真三子	
学務課学部等支援室総括室長〔併任〕	藤原 真三子	
入試課長	森田 智也	
学生支援課長	岡野 辰巳	
参事役(奨学支援担当)	松尾 寛	
国際交流課長	寺本 匠	
学術情報課長	三谷 拓也	

経済学部執行部

学部長・研究科長	教授	金川 めぐみ
評議員	教授	辻本 勝久
評議員	教授	柳 到亨
副学部長	教授	岡部 美砂
副学部長(入試委員長)	教授	金澤 孝彰
副学部長(学生委員長)	教授	長廣 利崇
学部長補佐	教授	芦田 昌也
学部長補佐	教授	阿部 秀二郎
学部長補佐(教務委員長)	准教授	岡田 真理子

◆経済学部教職員の異動

□教員

(2025.3)	定年退職	教授	齊藤 久美子
	退職	准教授	田村 正興
	〃	准教授	藤田 和史
(2025.4)	採用	准教授	中村 文香
	〃	准教授	西釜 義勝
	〃	准教授	丹羽 寿美子
	昇任	教授	岡橋 充明
	〃	教授	岡部 美砂
(2025.7)	退職	教授	鈴木 敏充
	採用	教授	北田 泰隆

□職員

(2025.4)	入試課長	森田 智也
	学務課主幹	森中 崇文
	(学部等支援室経済学部部分室長)	

県内・泉州地区就職希望で和歌山大学の

新卒生・同窓生のみなさんへ

和大生人材応援採用企業特集

QRコードで各企業のホームページをご覧ください



人と環境のハーモニー

株式会社 浅川組



浅川組は総合建設会社として、マンションや工場、庁舎、学校などの建築工事から、トンネル、道路、橋脚、風車などの土木工事まで和歌山県内で多くの建造物を手掛けています

地域に残る「作品」を一緒に作り上げませんか？

ものづくりに情熱をお持ちの方、コミュニケーションを取るのが好きな方大歓迎です

本社所在地 和歌山市小松原通三丁目69番地
代表者 取締役社長 西口 伸
設立 1948年12月
従業員数 300人(2025年5月)
事業所 本社/和歌山 支店/東京、大阪

採用に関する問い合わせ
担当：管理本部人事総務部 上中
TEL：073-423-7161
E-mail：asakawa-jinji@asakawagumi.co.jp
URL：http://www.asakawagumi.co.jp

日本の味・心の味を伝えて1世紀、これからも1世紀。



日本の味・心の味
中田食品株式会社

〒646-0292 和歌山県田辺市下三栖 1475
TEL 0739-22-2486 FAX 0739-23-0950
○ホームページ <https://www.nakatafoods.co.jp/>

人に、地球にやさしい、もの創り

SHIMA SEIKI はこれからも新しい技術の開発に挑戦し
世の中に感動をお届けします。

株式会社島精機製作所

本社 和歌山市坂田85番地



Sustainability @ SHIMA SEIKI
www.shimaseiki.co.jp/sustainability/

自然の恵み、生薬のチカラを活かして 現代人に必要とされる医薬品を製造



ホノミ漢方

劑盛堂薬品株式会社



◀ 当社HP

採用関係の
お問い合わせ
はコチラ ▶



暮らしの豊かに



＼新商品／



卒業生が多数在籍。地元和歌山の発展に尽力しています。



株式会社 **オーエ**

和歌山県海南市大野中1010

TEL (073) 482-3461(代)

web



人と人とのふれあいを大切に、地域社会とともに 株式会社湊組

本社所在地 和歌山市湊2-12-24
代表者 代表取締役 笹本 昌克
設立 1974年4月
資本金 6400万円
従業員 881名



テレビ和歌山の弊社CMをご覧になられた方も多くいらっしゃると思います。湊組は鉄鋼業界の一員ですが、我々が暮らす和歌山のインフラに深く関わる事業を営んでいます。また、県内の各イベント等にも協賛し、地域の発展にも力を注いでおります。これまで幾多の苦難も乗り越えてきた湊組は、これからも地域社会と共に歩んでいきます。

採用に関する問い合わせ

担当 本社 人財課 採用担当（大谷）
電話 073-451-0273 FAX073-480-5406
e-mail saiyou@minatogumi.co.jp



#新卒採用 #募集中 #和歌山 #安定企業 #OB在籍

菱岡工業株式会社

事業内容 業務用空調機・冷凍機の制御機器組立、
ハーネス加工、板金加工、設計・試作
所在地 和歌山市中島528番地
代表者 代表取締役 岡田 亜紀
設立 1974年4月
従業員 170名

【求職者の方へ】

和歌山大学卒業生も多数活躍されています。製造業に興味のある方、幅広いスキルを身に付けたい方、今までに身に付けた知識・技術を生かしたい方、未経験・知識がない方でも教育制度も充実していますので TRY の気持ちがあれば大丈夫！様々な職種があるので自分にピッタリなお仕事が見つかります。

お気軽にお問合せ・会社見学にお越しください！

担当：福林 電話：073-476-5111

e-mail：h.fukubayashi@hishioka.co.jp



【企業プロフィール】

当社は、業務用空調機・冷凍機の制御機器の組立、ハーネス加工と板金加工を行っており、板金加工部門では工作機械、アミューズメント機器、介護医療関係機器の部品製作等も行っています。誰もが楽しく働き続けられる企業を目指し、積極的な障がい者雇用、社員食堂や企業主導型保育事業（保育園）を開設する等しています。

私達は「つくる喜びと感動」を経営理念に、「打つ手は無限」を社是として新時代に向けて TRY し続けます。

ITで、地域に新たな感動を。

KJS 紀陽情報システム株式会社

紀陽フィナンシャルグループのソフトウェア会社です。
和歌山・東京・大阪を拠点に、金融、自治体、企業のITソリューションを
全国に提供しています。

本社 | 和歌山市中之島2240番地 資本金 | 8,000万円
設立 | 1985年2月 社員数 | 290名 (2025年4月現在)

人事部 採用グループ

☎ 073-432-7581

✉ saiyou@k-js.co.jp

SCAN HERE



学部学科・プログラミング経験不問

文系も理系も大歓迎

和歌山県職員募集案内

～わかやまの未来のために一緒に働きませんか～



WEBサイトでは、
業務内容や職員インタビューなど
県職員のやりがいや魅力を紹介



WEBサイトは
こちらから
アクセス！

Check
特別な公務員試験対策が
不要な試験も実施！

早期募集枠採用試験

受験資格 22歳～29歳

社会人枠採用試験

受験資格 30歳～45歳

※受験資格は採用年度4月1日時点

お問い合わせ先

和歌山県人事委員会事務局 総務課 ☎ 073-441-3763 ✉ e2101001@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県警察官募集案内

ワン！
1チームで
和歌山をまもる。

WPP

パトロール
守る 無線
規律
治安

TEAM
police

さあ、
キミもチームの一員に
なろう！

嗅覚
分析
広い視野

組織
安全

和歌山県警察
WAKAYAMA PREFECTURAL POLICE

警察官A(大卒)採用試験
受験資格 33歳未満

警察官B(大卒以外)採用試験
受験資格 18歳以上33歳未満

※受験資格は採用年度4月1日時点

第1次試験は基礎能力試験
SCOAです。

県警HP



採用係
Instagram



お問い合わせは、県内各警察署又は
和歌山県警察本部採用係(0120-217-314)まで

令和7年度和歌山大学入学者選拔出身学校 都道府県別選抜状況等一覧（経済学部）

経済学部 令和7年4月1日

区分	志願者			受験者			合格者			入学者		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1 北海道	6		6	5		5	2		2	2		2
2 青森県												
3 岩手県												
4 宮城県	1		1	1		1	1		1	1		1
5 秋田県												
6 山形県		1	1		1	1						
7 福島県		1	1									
8 茨城県	3		3	3		3						
9 栃木県												
10 群馬県	3	1	4	1		1						
11 埼玉県	1	1	2	1	1	2						
12 千葉県	1		1									
13 東京都	3		3	2		2	2		2	2		2
14 神奈川県	1	2	3	1	2	3						
15 新潟県	1	1	2									
16 富山県	4		4	3		3	1		1	1		1
17 石川県	6	3	9	5	1	6	2	1	3	2	1	3
18 福井県	1		1	1		1	1		1	1		1
19 山梨県	1		1	1		1						
20 長野県	2	2	4	2	1	3	1	1	2	1	1	2
21 岐阜県	6	1	7	3	1	4	2	1	3	2	1	3
22 静岡県	3	4	7	2	3	5	2	3	5	2	3	5
23 愛知県	15	8	23	12	6	18	2	3	5	1	2	3
24 三重県	11	4	15	8	2	10	1	2	3	1	2	3
25 滋賀県	9	3	12	7	2	9	1		1	1		1
26 京都府	21	3	24	13	1	14	5	1	6	4	1	5
27 大阪府	411	210	621	274	123	397	111	54	165	88	47	135
28 兵庫県	57	35	92	43	21	64	14	14	28	11	11	22
29 奈良県	47	15	62	30	10	40	11	4	15	9	3	12
30 和歌山県	212	128	340	154	80	234	45	30	75	44	27	71
31 鳥取県	3	3	6	3	3	6		1	1		1	1
32 島根県	3	2	5	3	2	5	1		1	1		1
33 岡山県	14	3	17	12	3	15	2	1	3	2	1	3
34 広島県	9	6	15	8	4	12	5	2	7	5	2	7
35 山口県	5	4	9	4	2	6	1	1	2	1	1	2
36 徳島県	7	3	10	3	3	6	1	1	2	1	1	2
37 香川県	9		9	6		6	2		2	2		2
38 愛媛県	3	3	6	2	1	3	2	1	3	2	1	3
39 高知県	7	2	9	5	2	7						
40 福岡県	9	5	14	5	5	10		3	3		3	3
41 佐賀県												
42 長崎県	2		2	2		2	1		1	1		1
43 熊本県		2	2		2	2		1	1		1	1
44 大分県												
45 宮崎県	1		1	1		1	1		1	1		1
46 鹿児島県	1		1	1		1	1		1	1		1
47 沖縄県	1	2	3		2	2		1	1		1	1
51 高卒程度認定試験・大学入学資格検定	4		4	2		2						
52 外国の学校等	5	3	8	3	2	5	3	1	4	3	1	4
53 文部科学大臣の指定した者												
54 認定												
55 在外教育施設												
56 専修学校の高等課程												
合計	909	461	1,370	632	286	918	224	127	351	193	112	305

※一般選抜における大学入学共通テストの受験科目不足等による出願無資格者は欠席者数に含む。

※学校推薦型選抜における大学入学共通テストの受験科目不足等による出願無資格者で受験した者は受験者数に含む。

出会いのひろば(会員談話室)

【随想】

- ・大25 河本 要 大人(たいじん)北卓治(大21)君を偲ぶ
- ・大 5 北 道子 終戦日の私
- ・大18 北村 修一 「自由大学」体験ツアー
- ・大20 平林 義康 松下会館横の胸像
- ・大17 水谷 太一 第20回日本スポーツグランプリ受賞

【短歌】

- ・大 6 川渕 湧三

【川柳】

- ・大13 佐竹 明吟

【俳句】

- ・俳句同人会(芦火)

【川柳】

- ・柑芦会「川柳サークル」

「出会いのひろば」は皆様方の談話室です。
活発な意見交換、作品の投稿をお待ちしています。

大人(たいじん)北卓治(大21)君を偲ぶ

大25 河本 要

柑芦誌の訃報の欄をパラパラ見ていた。「懐かしい人が今年も・・・」そのとき、21期北卓治という名に思わず声が出た。「北君、死んだのか？」びっくり仰天である。

私も実は、元は21期なので、彼とは同期同級。初めて市電の中で紹介された時は、へどもどする私に、悠々たる態度であいさつを返した。高松学舎でのソフトボール大会でショートを守る彼のところへボールが飛ん

だ時、それを捕らえてニコニコしていた。「一塁へ投げないの？」という周りの声に、「僕は、野球をやったことがない。」彼のニコニコであるが、小柄な身体をからかわれてもニコニコであった。大商社の社長のご子息だったが、そういう話はしなかった。大人(たいじん)であった。よくお互いの下宿に泊まって話した。

私の負う障害が悪くなって入院していた時、俳句会入会を誘った。病院に電話してきて、「要(かなめ)君、読売新聞でよく名前見ますよ。」

彼が言っていたことがある。「僕は月光の曲を弾けるんだ。」とうとう聞けずじまいで幽冥境を分かってしまった。

以上

終戦日の私

大5 北 道子

その日私は、学校へ行くために準備をしていた。当時、私は、和歌山師範学校 附属国民学校の五年生。学校は和歌山市が空襲を受けて以来、地域ごとに一ヶ所に集まり、先生が一人、一年生から高等科の生徒までの学習の面倒を見る、寺子屋式になっていた。私の家は、市内の西南、高松という地区にある。

ラジオのニュースが始まり、アナウンサーが、本日の正午より、天皇陛下が大切なお話をなさる。全国民、しっかりお言葉を聞くように、と告げた。

学校に着いた私は、先生にそのことを話し、正午までに家へ帰れるよう、早く授業を終わってほしいと頼んだ。先生は放送を聴いていなかったが、皆にこのことを告げ、いつもより早く授業を終わってくれた。

こうして私は、家へ帰って、家族と一緒に放送を聴くことができた。ラジオを持っていない近所の人たちも来て、十人ほどが一緒に「玉音放送」を聴いた。

放送はとても聞きにくかった。雑音が大きくて、途切れ途切れにしか聞こえない。「米、英、支、ソ・・・」という言葉が聞こえたから、ソ連も戦争に加わるから一層頑張れという言葉だったのではないか、という意見も出たが、皆が聞き取れた言葉を出し合い、ようやく敗戦の勅語だとわかった。「嘘だ。だまされてはいけない、・・・」

という者もいたが、多くの人が敗戦の勅語だと納得し、それとともに泣き声が大きくなっていった。

私はその場を離れた。戦争に負けた？信じられなかった。天照大神の子孫の天皇陛下が治める「神国日本」が負けたはずがない。そう思う一方で、毎日のように繰り返される空襲、畑の貧相な収穫物に頼る暮らしを顧みると、敗戦を受け入れるしかなかった

私は家を出て、痩せた土地を借りて作っている畠へ行った。周囲には誰もいない。足下の芋畑の中に立って、空を見上げた。空は青く、夏の日が照りつけていた。しかし暑さは感じなかった。

だまされた。だまされてきた。大人たちに。国の偉い人に。

もう信じない。偉い人なんか信じない。大人なんて信じない。

これからは自分の目で見、自分で考えたことしか信じない。十歳の子供は「信じる心」を失った。

同じ思いを持った子がいたことを知ったのは数年後である。高校の新聞に、私と同じ思いを吐露した記事がのったのだ。同じような人はこの国中にいるのだろう。おそらくその人たちは、あの敗戦日を知っているから、歴史の教訓を憶えていると思う。私も含め、その年代の者がいなくなったとき、戦争の教訓ははたして伝えられるだろうか。

今、わたしがおそれているのはその事である。

完

「自由大学」体験ツアー 記録

大18 北村 修一

6月8日(日)～9日(月)の1泊2日で、和歌山大学名誉教授の渡部幹雄先生(元・図書館長)が主宰されている「由布の里自由大学」を見学すると共にその取り組みを応援するため大分県由布市への体験ツアーを実施した。これはその記録である。

【ツアー前のエピソード】

話は2023年の夏ごろに遡る。2020年にニュース和歌山のコラムで、松下会館の東南角にある2つの胸像のうち、一つには和歌山高商の初代校長岡本一郎氏との説明板があるがもう一つには何らの説明がないので、読者から「この人は誰?」という相談が届いていた。ニュース和歌山では早速和歌山大学に問い合わせ、胸像のモデルは、和歌山高商の学生寮である励行寮の学生監であった野村越三先生であり、作者は大分県出身の片岡角太郎氏であることが判明した。

ただこの実情を知った渡部幹雄先生(和歌山大学名誉教授、元和歌山大学図書館長)がご自分のフェイスブックで「同窓会は何をしているのか。このままでいいのか」という記事を掲載されていた。そこで私は渡部先生に充てて「卒業生として恥ずかしく思う。翌年がちょうど経済学部創立100周年にあたるので、この記念事業の一環として胸像にはきちんとした銘板を設置し、周辺も整備するのでしばらく待ってほしい」という旨のお返事をしていた。翌2024年の6月には経済学部の尽力によってようやくその整備事業も完成したので写真を添付して渡部先生に報告できた。



そういう経過があったころ、相前後して橋本一男先輩(大10期、東海支部)から「渡部先生が古民家を再生して“自由大学”という構想の事業を孤軍奮闘で推進されているので、これを柑芦会として何とかご支援できないか」という宿題をいただいていた。諸般の事情からなかなか手をつけられていなかったのだが、名古屋で再会した橋本さんとの間で「自由大学体験ツアーを開催しよう」との話が持ち上がり、2025年の2月に至り渡部先生との間でも一気にその調整を進めることができた。

訪問日数や参加者数や交通手段などを検討の上で、現地ではレンタカーを使うのが好都合との判断から上限8名の定員制で、4月に柑芦会のホームページやフェイスブックで参加者募集を行った。

4月末の期限までに応募のあったのは、橋本さんのほかに神原克収さん(大10期、神戸支部)、そして平林義康さん(大20期、神戸支部)と私の4名である。時期は6月8日(日)から9日(月)の1泊2日とし、山陽新幹線と日豊本線の特急ソニック号を利用して別府駅で渡部先生と合流し、そこからは2日間とも渡部先生のマイカーで翌日の大分駅到着までお世話になることになった。

【1日目】

ツアー1日目の朝、新大阪駅のホームで並んでいると名古屋から新幹線で駆けつけた橋本さんと合流した。そして新神戸からは神原さん、姫路からは平林さんが乗り込んできて4名が無事に合流できた。それぞれに近況などを語り合っているうちに特急さくら号は小倉駅に着く。ここで日豊本線に乗り換えるのだが、その合間に駅弁と飲み物を購入する。大分行きの特急ソニック号に乗り込んで駅弁を広げたのはいいが、この電車はいわゆる「振り子電車」で食事をするにはかなりの苦勞をした。

そうこうするうちに列車は別府に着き、全員下車する。駅の改札口を出たところに打ち合わせどおり渡部先生が出迎えてくれていた。渡部先生と初顔合わせの平林さんと私は挨拶もそこそこのまま2先輩らと共に渡部車に乗り込ませていただいた。

車はそのまま由布市の自由大学へ向かうのではなく、渡部先生のご配慮により途中で2ヵ所に立ち寄ることになった。まず1ヵ所目は「せっかく別府に来たのだから」と別府のはずれのひなびた温泉にご案内いただいた。

1ヵ所目の堀田温泉は簡素で雰囲気の良い温泉であったが、あいにく清掃時間帯と重なったため諦めて、地域で運営しているという照湯温泉にての入浴となる。入湯料は1人300円。5人分を支払って脱衣場に入ると浴槽はすぐ横に設置されており、シャワーや石鹸などの今様の設備は一切なく、まさに入浴だけの温泉であった。地元の人は毎日でも日に何回でも温泉に入れて羨ましいなど思いながら、風呂を出る。温まった身体で車に乗り込み次の立ち寄り所に向かう。道はいわゆる「やまなみハイウェイ」(県道11号)であり、途中には避暑地で有名な城島高原などを通過していく。湯布院の街を眼下に見下ろす狭霧台では中国人らしきカップルに5人での記念写真のシャッターを押してもらった。



左から、平林さん、北村、神原さん、渡部先生、橋本さん

湯布院温泉に入っただけに着いたのは湯布院ラックホールで、ここでは前日から現地の歴史等の記録のための映画祭に参加するというフィールドワーク中の大澤健和歌山大学経済学部教授とサプライズで引き合わせていただいた。メンバーの大半は大澤先生とは既知の間柄だったので、すぐに溶け合っただけで先生の今後の展開やそれに関する同窓会の役割などについて立ち話での打ち合わせが展開された。まだ仕事が残っているという大澤先生と別れて我々は先を急ぐことにした。

湯布院の温泉街はここでもインバウンドが大勢闊歩していたが、それを尻目に渡部車は一路自由大学に向かう。降り続く雨の中、車は庄内町の自由大学に到着。大分川沿いに建つ古民家こそ、今回の目的地である自由大学である。渡部先生からは館内をご案内いただき、宿泊施設や1万冊に及ぼうかという蔵書のご紹介をいただいた後、プロジェクターも使って自由大学を思い立った背景にオ

ランダやスウェーデンの図書館事情や町起しならぬ「町残し」の思想などがあることを学ばせていただいた。



自由大学の全景

先生は2021年からこの事業を推進されているが、今では国内のみならず海外からもこの事業に共感する人々が訪れ、何とフランスをはじめ世界52ヵ国から来訪者・宿泊者があるそうだ。これを知ったからには我々も何らかの応援をして差し上げたいのは当然のことであろう。

その後は、全員で町内に2ヵ所あるというスーパーのうち大きいほうの店に出かけて今夜の夕食と飲み物の買い出しである。我々が5人分の夕食を買い込み、渡部先生は我々のために地元の酒蔵の焼酎を購入いただいた。その後着いたのは、先ほどの自由大学とは別の場所にある緒方町の宿泊所である。立派でしっかりとした建付けの和風建築はこの地における渡部先生のお住まいのようである。

早速、夕食を開始する。ここでも先ほどのミニ講義に続いて、渡部先生との自由大学に関する意見交換が続く。酔いの深まりにつれて話題はそれ以外にも及び、深夜まで話は尽きなかった。就寝の前には全員で片付けに入ったが、その中では神原さんが率先して食器などの洗い物をご担当いただいた。頭が下がったが、「いつもやっていることをやっているだけ」というおことばに甘えさせていただいた。

【2日目】

翌朝は、目覚めてみたら既に渡部先生が「我が家のお米を食べてくれ」とばかりに用意していただいた炊き立てのご飯と、近所で美味しいと評判のパンなどによる豪華な朝食の用意ができていた。全員でありがたく頂戴し食後のコーヒーまでご用意いただき、ゆったりとした朝食と贅沢な時間を堪能できた。

「車のエンジンがかからない」というトラブルの対策に勤しまれる渡部先生とは別に、訪問者4名は食後の片づけと出発の支度に余念がない。しばらくして戻って来られた先生からは「何とか復旧した」との報告があり、一

時はタクシーやJRの利用まで考えていたメンバーはやれやれと胸をなでおろした。

前日からの雨は、天気予報どおり出発時にも途切れることなく降り続けている。その中を渡部号は本日の目的地である佐伯城址に向かって元気に進んでいく。大分光吉インターからは東九州自動車道をひたすら南下して、臼杵や津久見などを経由したのち佐伯インターで高速道路を降りる。街中へ入る前に、車はとある100円ショップに立ち寄る。野村越三先生の胸像の銘文が汚れて読みにくくなっていると言う渡部先生のご提案で銘文をきれいにするためにナイロントワシを買い込むためである。無事にタワシも購入でき、一路胸像のある佐伯城址公園に向かう。胸像についてよく観察したら先生の言われるとおり、銘文は石灰岩の溶液が垂れたかのように縦に一筋の汚れが一部の文字を消し去っている。みんなで交代交代に銘文をゴシゴシと磨いたが、いかにせん手作業では限界がある。少なくとも和歌山高商との関係を記述した部分は読めるようになったのでこれでよしとし、胸像の近くにあった「公園に関するアンケート」のQRコードから我々の行った行動を説明したうえで今後のさらなる善処をお願いする投稿をしてこの場を去った。銘文の和歌山高商に関する記述は次のとおりであった。

『このような先生の素晴らしい人柄と指導力が認められ、1924年、和歌山高商（現和歌山大学）の学生監として招聘された。先生の優れた人柄はここでも極めて短期間に全学生の絶大な信頼を集め敬慕の的となり、その指導の将来性に大きな期待がかけられたのであったが、1925年4月29日、病のため逝去された。行年41歳であった』

小高い公園を出て平地に降りたところにあるのが、野村先生が和歌山高商に来られる直前に体育教師として勤務されていた佐伯市立佐伯小学校である。道路沿いの立派な門には「四教堂」との銘がある。古くは藩校の施設の一つであったと思われる。ここで渡部先生からまたご提案があった。「小学校に野村先生のことわかる資料が残されているかもしれない。ダメもとで聞いてみたらどうか?」というもので、それもそうだと全員が納得し、恐る恐る小学校の事務室を訪ねてみる。突然の訪問でありかつ無理難題のお願いであったが、学校側は教

頭だけでなく女性の校長までが出てきてくださり、真剣に対応してくださった。というのも、野村先生のことはスポーツを通じて子供たちの健康体力増進に貢献された地域の恩人、偉人として現在でも小中学校の副教材で紹介されているらしく、すぐさま我々の意図をくみ取っていただけたからである。ありがたいことに、その副教材をコピーして全員にご提供いただけたので、帰阪後はこのことを柑芦会や和歌山大学の関係者に広く共有させていただく所存である。また一方では、和歌山でも野村先生がこのような学生から慕われていたことと、その証として佐伯城址の胸像と同じものが和歌山高商の跡地（松下会館）に残されていることを、佐伯小学校を通じて佐伯市の皆さんにも知っていただきたいと思った。（これについては、翌日の校長宛のお礼のメールの中で、和歌山の胸像の写真と共にお送りしておいた。）



胸像の銘文を清掃する
橋本さんと神原さん



佐伯市立佐伯小学校

こうして大きな目的を2件達成した我々訪問メンバーは、地元では「佐伯は世界一のお寿司の町」と呼ばれていることを知り、昼食には寿司を食いたいと町中を探したが適当なお店が見つからず、弥生という町まで移動して海鮮のうまい道の駅で昼食を摂った。

ゆったりとした昼食を満喫した後は、一路大分駅に向かう。まだ雨の降り止まぬ中、佐伯インターから今度は東九州自動車道を北上し、大分インターで降りて大分駅に向かう。駅までには渡部先生の活動を展示するギャラリーの横を通過したが、訪問はまた次回以降とさせていただいた。

駅前で渡部先生とお別れして、一同は特急ソニック号を待つ。あとは帰路が待っているだけなので、駅ナカのカフェでコーヒーなどを楽しんだ後、列車に乗り込む際には「やっぱりこれ」と缶ビールを1本ずつ買い込み、車

中での反省会の潤滑油とした。

翌日は小倉の観光を楽しみたいという橋本さんと小倉駅で別れ、神原さんは少しでも早く帰りたいからと次のさくら号で神戸に向かわれ、私は「姫路に停車するさくら号を待つ」という平林さんに付き合って1便遅れのさくら号に乗った。夕食代わりの駅弁と缶ビールを買い込んで乗車したのだが、幸いにも小倉で乗り換える乗客が多く2人とも並びの座席を確保できた。姫路駅で平林さんとも別れ、終着の新大阪には20時ごろに着き、今回のツアーは無事に完了となった。

野村先生と渡部先生を通じて、大分県と和歌山県の深いつながりを体感し2日間の貴重な体験ツアーを大満足のうちに終了した。渡部先生には大いに感謝している。またこのきっかけを作っていただいた橋本さんには深甚なる感謝を、呼びかけに応じてご参加いただいた神原さんと平林さんにも謝意を表明する。

<渡部幹雄先生の略歴>

- ・1953年11月 大分県大野市緒方町生まれ
- ・1989年 東京都国立市、民俗文化財調査員
- ・1990年 緒方町立歴史民俗資料館(学芸員)。緒方町立図書館をつくる
- ・1994年 長崎県森山町教育委員会参事。森山町立図書館をつくる
- ・2000年 滋賀県愛知川町立図書館長(初代)
- ・2008年 滋賀県愛荘町教育長
- ・2010年 和歌山大学特任教授。大学副図書館長
- ・2012年 同上、図書館長
- ・2015年 和歌山大学教授
- ・2019年 和歌山大学定年(65歳)→名誉教授へ
- ・2021年 由布の里自由大学(Book&Bed事業)開始
- ・2015年 和歌山県立近代美術館運営協議会委員

以上



佐竹 明吟(大13)

吹く風に逆ってきた皺がある
ゴキブリにとっさの肝が試される
お屋敷のピアノ美人に違いない
閻魔様人間すべて不合格
兵隊にだけは末代までもさせぬ
少子化が介護ロボットあてにする
遺言にへそくりの場所書いておく
やきもちを妬く妻がいて平和です
ザビエルの名前をもらい友が逝く
さようなら幽冥界に発った友

短歌

閑居近詠

川淵 湧三(大6)

思はざる歳を迎へて初詣で
こま犬をなで鳥居をくぐる
山の湯に花びら浮かぶ昼さがり
四万十川を春風わたる
万博は新聞テレビに見るばかり
「太陽の塔」を見しは若き日
あの日から幾夏われは生ききしが
小学五年の敗戦日から
わが町の小学校は山にあり
「学問坂」の呼び名なつかし
汗をかきサウナにて見る砂時計
生きてるかぎり時は止まらず
文通と汽車を頼りに過ごしたる
わが青春の昭和もはるか

松下会館横の胸像

大20 平林 義康

松下会館横に和歌山高商の初代校長・岡本一郎先生の胸像が立っていることはご存じの方が多いと思いますが、その横、西側に崩し文字で書かれているためにどなたのものか不明の胸像が置かれています。

実は、2020年10月の「ニュース和歌山」でこのことが取り上げられました。

以下はニュース和歌山の記事です。

『今回の疑問は、和歌山市の岡本弘さんから頂きました。「旧和歌山大学、現在の放送大学（同市西高松の松下会館）の南東角に銅像が並ぶエリアがあり、一つは名前がありますが、西の青年には何の説明もありません。芸術性を感じるこの像は一体、どなたでしょう?』

東側の胸像には「岡本一郎先生」と名が書いていますが、もう一つは「大正十五年、角??作」とくずし文字が裏にあるだけ。だれなのでしょう? 松下会館を管理する和歌山大学の広報室に尋ねると、資料2冊を提供頂きました。以下、両書の内容に即します。

さて、この2体の胸像は、ここにかつて存在した和歌山大学経済学部の前身で、1922年に開設された官立和歌山高等商業学校の関係者です。

まず名前がある東の像は、山口県出身で初代校長の岡本一郎氏です。同校の基礎を築いた人物で、像は開学10周年記念に作られました。作者は和歌山出身の彫刻家、保田龍門です。

問題は西の像です。くずし文字は、大分県出身の彫刻家、片岡角太郎氏の名。像は学生寮「励行寮」の寮監、野村越三氏です。野村氏は大分県佐伯市の佐伯小学校で、児童の健康体力増進で成果をあげ、24年に岡本校長に招かれ、和歌山に来ました。

朴とつとした人柄は学生に慕われたようですが、翌年に他界。学生は死を惜しみ、胸像を学内に建てました。

同じ胸像が佐伯城跡にもあり、和歌山の学生だけでなく、大分の人にも愛されていたのをうかがわせます。』

このことは、数年前に当時の柑芦会会長（現顧問）18期の北村修様より伺っていたのですが、北村様は別ルートで野村越三先生のことを聞かれています。別ルートとは大分県出身で現在大分県由布市在住の和歌山大学名誉教授・渡部幹雄先生（図書館学の権威）より「松下会館横の野村越三先生の胸像は大分県佐伯城址にある銅像のレプリカです。是非、現物そのものを見て頂きたい。」というものです。

そして遂にこの度大分県佐伯城址を訪問する機会が訪れ、渡部先生、北村様および大学10期の大先輩お二人を含め都合5名で佐伯市を訪問しました。

佐伯城址では野村越三先生のオリジナル胸像を確認させて頂きましたが、胸像の銘板には「和歌山高商（現和歌山大学）の学生監として招へいされ・・・」ときっちり刻まれていました。

野村先生の胸像は汚れが酷かったので全員で磨き上げましたが、その帰途に城址前にある佐伯小学校に事前予約なしで訪問しました。

突然の訪問にもかかわらず、小学校では校長先生、教頭先生が「遠路はるばる和歌山からよくお越しいただきました」と丁重に対応して下さいました。そして、先生方からは、野村越三先生は佐伯市の偉人として今でも小学校の教則本に掲載されているとお聞きし大いに驚いたところです。教則本を実際に拝見したところ、明治の文豪・国木田独歩と並んで野村越三先生が掲載されていました。

岡本一郎先生は勿論ですが、野村越三先生も我々柑芦会会員にとっての謂わば恩人です。

このことは、我々だけに止めることなく、後世にしっかりと伝えていきたいものです。

最後に松下会館横にある岡本一郎先生、野村越三先生の胸像とともに野村先生のオリジナル胸像の写真を添付します。



佐伯市立佐伯小学校
(校門には「四教堂」の看板)



松下会館横の両先生
の胸像



佐伯城址の野村先生
オリジナル胸像

第20回日本スポーツグランプリ 受賞

大17 水谷 太一

令和7年度の公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツグランプリを、和歌山大学ホッケー部総監督・同OBG会前会長で、柑芦会大阪支部元幹事長の下村尚氏(経済7期)が受賞されました。

これは、公益財団法人日本スポーツ協会が、長年にわたりスポーツを実践するとともに、広く国民に感動と勇気を与え、「生涯スポーツ社会」の象徴となる顕著な功績を挙げた中高年齢層の個人またはグループを顕彰するもので、ホッケー競技では初めての受賞者となります。

下村氏は、1955年(昭和30年)和歌山大学に入学、ホッケーに出会って以来、関西学生リーグ、大学選手権大会に選手として活躍、卒業後もOBと共に和歌山県ホッケー協会の社会人チームを編成、国体予選、社会人大会、全国教職員大会等に選手として参加され、これらの実績により1965年(昭和40年)に和歌山国体男子チームの強化を県体育協会から委嘱、5年間指導強化に当たり1971年(昭和46年)開催の和歌山国体高校男子の部で箕島高校を優勝に導きました。

その後1975年(昭和50年)に、社会人になってもホッケーをプレーする機会・場所を設けようと、関西各大学のOBに広く呼びかけて関西社会人リーグを立ち上げ初代委員長に就任、現在に至っています。

さらに1996年(平成8年)、生涯スポーツとして中高年齢層にもホッケーを楽しむことができる環境を作るため、「関西ホッケー交流会」を結成して定期的な練習会を舞洲人工芝ホッケー場で開始し、現在も全国各地から参加者が集まる等環境の整備に尽力されました。

また、2005年(平成17年)初の海外遠征としてヨーロッパスーパーベテランズトロフィー大会に参戦、

オランダやドイツのクラブチームとも対戦し、そこで得た経験をもとに、2007年(平成19年)にヨーロッパを中心に組織活動している「World Grand Masters Association」(WGMA)に参画すべく「日本グランドマスターズホッケー協会」(JGMA)を設立し、マスターズ世代の海外への門戸を開きました。

2008年(平成20年)には香港で開かれた第4回ワールドグランドマスターズホッケー大会に初参加、その後、2012年のイギリス大会、2014年のオランダ大会、2016年オーストラリア大会、2018年スペイン大会、2020年には東京で開催予定でしたがコロナ禍のため2022年に延期して開催、2024年ニュージーランド大会と、毎回世界大会に参加、この他アジア大会にも参加して日本マスターズチームの存在を世界に知らしめました。

一方、国内の大会としては、2009年(平成21年)JGMA主催で「第1回日本グランドマスターズホッケー大会」を大阪舞洲ホッケー場で開催、以後2018年(平成30年)まで毎年開催、また全日本マスターズホッケー大会では2007年(平成19年)から2018年(平成30年)まで監督兼選手として出場し活躍されました。

このように長年にわたりホッケーに携わり、とりわけ生涯スポーツとしてマスターズ世代のホッケーの実践、普及に尽くした功績が認められ、この度の受賞となりました。



俳句同人「芦火」の会

和歌山大学経済学部の卒業生の俳句好きが集まって出来たこの会は「芦火」という名で昭和38年秋に創刊されました。柑芦会と同じ「芦」の名を使い、その灯火をまもって、毎月欠く事の無く句報を発行し続けて60年、柑芦会100周年に向け新しい仲間の入会を待っています。柑芦会に拘わらず、和太に関係される皆様のご加入をお待ちしています。今年度の力作(自選)で紹介します。

俳号..善富 安田 善富 三期 御所市(奈良)

古民家の裏の藪濃し紅椿

長閑しや柵に寄り来る馬の貌

大屋根に我が物顔や猫の恋

大和路や行けど行けども豊の秋

俳号..六甲 野崎 雅廣 四期 神戸市

戦争の記憶茫茫終戦日

緑蔭や微睡に亡き兄妹

アスファルト灼けトロットを踏む鴉

思ひ出のステップを踏む巴里祭

俳号..蒼炎 北 道子 五期 姫路市

万緑や木々の香乗せて観覧車

盛り上がる若葉徒へ天守閣

老いたれど我は海の子南風を恋う

梅一輪二輪三輪能登は雪

俳号..恵吾 梅川 恵吾郎 五期 大阪市

廃村の火の見櫓や風の音

禅寺の朝の静寂や沙羅の花

初霜や理事に小さき靴の跡

俳号..碧亥 後藤 大 八期 安城市(愛知)

余生てふ日々在る妻蛭蚓鳴く

故郷の誰彼思ふ若荷汁

庫裏の隅徳利に挿せる秋団扇

春陰や同窓会誌の訃報蘭

俳号..勝 山下 勝 十四期 熊本市

お代わりの声次々と豆の飯

手を上げて父の帰宅や水鉄砲

着ぶくれて百歳体操しておりぬ

俳号..ほなが穂心 穂永 千秋 十七期 西宮市

夏休み実習船の出港す

春の日や雲映したる漆

熱闘終り一塁側より虹を撒く

貴船社や水に浮き出る初神籤

俳号..温州 平林 康義 二十期 加古川市

あれそれで済ます会話や秋暑し

寝落ちする至福の時や日向ぼこ

早春の空へと続く滑走路

風光る岬の上の飛行船

改札をフリーパスする初燕

俳号..要 河本 要 二五期 茨木市

長崎忌終の力の聖歌隊

暴風に浜昼顔の一輪よ

道教へよくぞこゝまで来たりけり

俳号..甲舟 八木 幸彦 二五期 尼崎市

少年の夢遙かなり青蜜柑

残菊や同窓会は雨となり

テレビから俳句流行りし健吉忌

テレビのプレバトをご覧になればたのしさが伝わる筈、表現できる言葉の多さ、普通に話すことがそのまま俳句になることに気がきます。初心者だから？皆最初はそうです。ご相談ください。

ご入会希望の方は 編集者：ほなが穂心までご連絡ください。

連絡先：090-9887-2513 mail：suishin2010@dream.ocn.ne.jp

寄附講義について

大阪支部 大26 糸川 公偉

寄附講義は、2004年(平成16年)に現役学生の進路検討や「職業観の醸成」を目的として開設され、柑芦会から経済学部を提供している講義です。途中コロナ禍で3年間休止していましたが2023年(令和5年)から、再開されています。

寄附講義は、柑芦会主導による講義で、柑芦会の概ね20歳、30歳代の企業で活躍している卒業生が経済学部長から、「非常勤講師」の委嘱を受け講師を担当し、現役学生に講義を行うものです。

科目は「現代経営実践論」で、ガイダンスを含め8回の講義で、受講者には2単位が与えられます。初回のガイダンスは柑芦会会長が寄附講義の開設趣旨や意義等の説明、また柑芦会の歴史や活動内容等の紹介も併せて発表することで現役学生に柑芦会を知ってもらう良い機会となっています。アンケートでは、柑芦会のすばらしさや身近に感じた等の回答があり好評なガイダンスとなっています。

講師の業種は、金融、製造業、情報通信、人材サービス、コンサル業、公務員等多岐にわたり、広い分野の企業情報が直接の先輩から得られる貴重な講義です。講義内容は、講師からの一方的なものではなく、小グループに分かれて「グループワーク」も取り入れ学生の積極的な意見交換の後、発表する形式を設けています。学生の意欲や発想は素晴らしいものがあり感心させられます。2023年は35名程度、2024年は60名程度の受講生でした。

柑芦会では、実行委員会を設け、講義の補助要員として交代で講義に参加しています。卒業生が実際のビジネス界の経験を披露し、経済学部での学習が将来にどう繋がるかを理解すると共に現役学生が将来に備える課題を予見、実感することで知識欲を高める目的です。就職に関して卒業生の経験や実社会の現場の話が聞ける大変良い機会であり、学生のアンケート結果でも好評を得ています。

2025年も10月2日をスタートに、経済学部以外の学部生も参加可能としており全学部生の受講を計画しています。大学側、学生の評判も良い寄附講義は柑芦会の活動の中でも重要なものであり、皆様の協力をいただきながら、より質の高い内容を目指し継続していきたいものです。

また、現役学生とともに卒業生との柑芦会の接点を高める良い機会ととらえ、寄附講義を推進していく方針です。皆様のご支援よろしく願いいたします。

後継者対策のパートナー



リオ税理士法人

代表 小柴学司 (大39期)
(公認会計士 税理士)

〒651-0086
神戸市中央区磯上通6-1-1 磯上公園ビル4階
TEL 078-221-9114
FAX 078-222-8666

令和7年度 寄附講義「現代経営実践論」 時間割表

月日(曜)	時間帯	学部・卒期	講師氏名 (敬称略)	所属
10月 2日(木)	13:10~14:40	経済62期	西山 剛	東海支部、(柑芦会ガイダンス)
10月 9日(木)	13:10~16:20	経済54期	長野 佳浩	株式会社IKUSA 取締役
10月16日(木)	13:10~16:20	経済68期	中川 麻菜美	レンゴー株式会社人事部人事課
10月23日(木)	13:10~16:20	経済37期	山下 宏治	ヤンマーエネルギーシステム株式会社 代表取締役社長
10月30日(木)	13:10~16:20	経済50期	塚崎 公郷	紀陽情報システム株式会社
11月13日(木)	13:10~16:20	経済58期	仲摩 和紘	デロイト トーマツ グループ合同会社
11月20日(木)	13:10~16:20	経済51期	城 大輔	三井住友トラスト不動産株式会社
11月27日(木)	13:10~16:20	経済59期	佐伯 友希	和歌山県庁(福祉保健部健康推進課)

令和6年度 寄附講義風景



グループワーク作業風景(正面左)



グループワーク作業風景(正面右)



講義学習風景(正面左)



講義学習風景(正面右)

柑芦会 支部一覧表

支 部 名		事 務 所 所 在 地
和歌山	和歌山	640-8227 和歌山市西汀丁36 和歌山商工会議所2F 山中会計事務所内 柑芦会和歌山支部 事務局
大 阪	大阪、奈良	540-0012 大阪市中央区谷町4-4-17 ロイヤルタワー大阪谷町207号
東 京	東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、群馬、山梨、長野、栃木	160-0023 東京都新宿区西新宿7-17-14 新宿シティ源ビル5F 和歌山大学柑芦会東京支部
東 海	愛知、岐阜	463-0802 愛知県名古屋守山区大森北1-307 伊藤 僚一様方
神 戸	兵庫(東播磨、北播磨、丹波以東および淡路)	669-1133 兵庫県西宮市東山台2-14-216-301 吉竹 俊道様方
京 滋	京都、滋賀	529-1235 滋賀県愛知郡愛荘町目加田904 清水 聖心様方
北海道	北海道	067-0028 北海道江別市豊幌はみんぐ町7-2 澤野 雅彦様方
東 北	青森、岩手、秋田、山形、福島、宮城	020-0004 岩手県盛岡市山岸二丁目16-58 菊池 静様方
北 陸	富山、石川、新潟	921-8065 金沢市上荒屋3-311 林 国敏様方
福 井	福井	912-0061 大野市篠座町7-8 清水 啓司様方
静 岡	静岡	
三 重	三重	516-0035 伊勢市勢田町608-136 山際 雅彦様方
姫 路	兵庫(神戸支部以外)	672-8064 姫路市飾磨区細江111 黒田 俊行様方
岡 山	岡山	
広 島	広島	731-5127 広島市佐伯区五日市6-2-16 三吉 規央様方
山 陰	島根、鳥取	680-0022 鳥取県鳥取市西町2-308 吉村 政憲様方
山 口	山口	
徳 島	徳島	770-8040 徳島市上八万町中山6-11 三村 清美様方
高 知	高知	780-8037 高知市城山町192-1 西川 博様方
香 川	香川	761-0432 香川県高松市亀田南町87-108 山上 武司様方
愛 媛	愛媛	799-2696 松山市堀江町7番地 三浦工業(株)内
九 州	九州全県	852-8063 長崎市北栄町4-5 石川 和彦様方
沖 縄	沖縄	904-0022 沖縄市園田1-3-30 当真 一男様方
北 米	アメリカ	6 Teramo Ct. Newport Coast, CA USA 92657
その他海外		
本部事務所		(和歌山) 640-8510 和歌山市栄谷930 和歌山大学 経済学部 分室 気付
		(大 阪) 540-0012 大阪市中央区谷町4-4-17 ロイヤルタワー大阪谷町207号
備 考		※は、支部長不在支部です。お問い合わせ等は本部事務所(大阪)宛でお願いします。

(2025年4月)

電 話	支 部 長	副 支 部 長		幹 事 長	在籍者数
073-423-1231	山中 盛義(大28)	岡澤 利彦(大36)	山本 進三(大39)	赤松 良寛(大29)	4,721
06-6941-4986	糸川 公偉(大26)	岡田 治(大32)		平野 勝久(大31)	5,869
03-3366-3680	小林 淳(大30)	石田 隆造(大28) 松村 勉(大29)	山根木晴久(大34)	草場 寛(大34)	1,143
080-3065-4287	伊藤 僚一(大20)	伊藤 弘之(大25)	赤塚 信正(大26)	鈴木 光伸(大31)	581
090-3550-2392	平林 義康(大20)	吉田 和宏(大17)		吉竹 俊道(大27)	980
090-1557-7730	清水 聖心(大31)			宮下 剛(大46)	369
011-887-8298	澤野 雅彦(大22)				14
080-1824-2688	菊池 静(大46)	喜多 正行(大8)	村澤 美代子(大34)		52
076-205-1916	林 国敏(大41)				108
0779-66-4336	江波 庄進(大24)			清水 啓司(大31)	102
	※				109
0596-72-8025	井上 俊一(大18)	小谷 剛(大20) 太田 均(大22)	水谷 正道(大26)	山際 雅彦(大31)	202
079-234-1411	黒田 俊行(大29)	長永 利男(大29)		栄藤 雅雄(大31)	210
	※				201
082-921-1662	三吉 規央(大45)	山元 経穂(大49)			119
0857-26-5159	吉村 政憲(大17)	秋山 誠司(大41)			156
	※				56
090-1578-7941	多田 昭弘(大26)	丸木 一男(大14) 春藤 勝弘(大33)	相談役 中村 昌宏(大13)	三村 清美(大36)	145
088-833-7274	西川 博(大21)				27
087-847-3185	梶 正司(大31)※				92
089-979-1230	門屋 孝博(大35)				105
090-1876-1674	石川 和彦(大19)				346
098-932-2787	當真 一男(大28)			大城 直輝(大46)	29
213-610-7578	田中 昌平(大19)				6
073-457-7607				(合計)	15,742
06-6941-4986	(会 長)	垣見 祐二(大25)			
				在籍者数は2025.3.29現在です。	

※2025年7月の支部総会にて支部長が変わりました。

柑 芦 会

柑芦会役員名簿 (2025年3月31日現在)

顧問 学長 本山 貢
顧問 学部長 金川 めぐみ

顧問 青柳 明雄 (大16)
顧問 北村 修一 (大18)

☆印: 新任

役 職	支部名	卒回		氏 名	役 職	支部名	卒回		氏 名
会 長	東 海	大25		垣見 祐二	理事	東 海	大26		赤塚 信正
副会長	和歌山	大28		山中 盛義	〃	〃	大31		鈴木 光伸
〃	大 阪	大26		糸川 公偉	〃	〃	大50		中川 暢顕
〃	東 京	大30		小林 淳	〃	神 戸	大17		吉田 和宏
〃	東 海	大20		伊藤 僚一	〃	〃	大27		吉竹 俊道
〃	神 戸	大20		平林 義康	〃	〃	大39		小柴 学司
理 事	和歌山	大18		西本 和生	〃	〃	大41		三和田 浩次
〃	〃	大20		小瀧 信	〃	京 滋	大14		和田 壽郎
〃	〃	大23		松野 浩行	〃	〃	大31		清水 聖心
〃	〃	大23		宮尾 文也	〃	〃	大46		宮下 剛
〃	〃	大29		赤松 良寛	〃	北海道	大22		澤野 雅彦
〃	〃	大30		波田 良成	〃	東 北	大46		菊池 静
〃	〃	大36		岡澤 利彦	〃	北 陸	大41		林国 敏
〃	〃	大39		山本 進三	〃	福 井	大24		江波 庄進
〃	大 阪	大15		足立 邦雄	〃	静 岡			※
〃	〃	大15		奥山 泉	〃	三 重	大18		井上 俊一
〃	〃	大16		青柳 明雄	〃	姫 路	大29		黒田 俊行
〃	〃	大18		北村 修一	〃	岡 山			※
〃	〃	大26		塩谷 昭	〃	広 島	大45		三吉規央
〃	〃	大26		杉野 博章	〃	山 口			※
〃	〃	大26		増田 高一	〃	山 陰	大17		吉村 政憲
〃	〃	大29	☆	熊田 昌之	〃	徳 島	大26		多田 昭弘
〃	〃	大31		東海 秀明	〃	高 知	大21		西川 博
〃	〃	大31		平野 勝久	〃	香 川	大22		島田 新市
〃	〃	大32		岡田 治	〃	愛 媛	大35		門屋 孝博
〃	〃	大33		渡邊 豊	〃	九 州	大19		石川 和彦
〃	〃	大44		市平 和久	〃	沖 縄	大28		當真 一男
〃	〃	大46		本庄 麻美子					
〃	東 京	大15		原 良也					
〃	〃	大15		西浦 英次					
〃	〃	大26		末廣 利明					
〃	〃	大28		石田 隆造					
〃	〃	大29		松村 勉					
〃	〃	大34		草場 寛	監 事	神 戸	大30・院17	☆	岡野 英生
〃	〃	大34		山根木 晴久	〃	大 阪	大47・院37		夫馬 竜司

(注) ※印: 現在空席です。

理事59名(定数56名以上69名以内) 監事2名(定数2名または3名) 顧問4名

(一財)和歌山大学経済学部後援会・役員名簿 (2025年3月31日現在)

☆印: 新任

役職名	所属支部	卒回		氏名	役職名	所属支部	卒回		氏名
理事長	東海	大25		垣見 祐二	評議員	和歌山	大20		小瀧 信
常務理事	和歌山	大28	☆	山中 盛義	〃	〃	大23		松野 浩行
〃	大阪	大26		糸川 公偉	〃	〃	大36		岡澤 利彦
〃	東京	大30		小林 淳	〃	大阪	大17		浦 義弘
〃	東海	大20		伊藤 僚一	〃	〃	大31		東海 秀明
〃	神戸	大20		平林 義康	〃	東京	大28		石田 隆造
理事	大阪	大16		青柳 明雄	〃	〃	大34		草場 寛
〃	〃	大18		北村 修一	〃	東海	大31		鈴木 光伸
〃	東京	大15		原 良也	〃	神戸	大17		吉田 和宏
〃	〃	大15		西浦 英次	〃	京滋	大46		宮下 剛
〃	〃	大26		末廣 利明	〃	東北	大46		菊池 静
〃	神戸	大20		辻 均	〃	三重	大18		井上 俊一
〃	〃	大29		佐藤 直樹	〃	姫路	大29		黒田 俊行
〃	京滋	大14		和田 壽郎	〃	徳島	大26		多田 昭弘
〃	姫路	大25		毛利 恵行	〃	香川	大22		島田 新市
					〃	九州	大19		石川 和彦
監事	神戸	大30・院17	☆	岡野 英生					
〃	大阪	大47・院37		夫馬 竜司					

任期 理事 2年(2026年5月まで)
 評議員 4年(2026年5月まで)
 監事 4年(2028年5月まで)

現在数 理事 15名(定数10名以上20名以内)
 評議員 16名(定数10名以上25名以内)
 監事 2名(定数3名以内)

Always available as your home and company lawyer.

司法書士法人 **さくら国際**
 行政書士法人

SAKURA INTERNATIONAL LEGAL PARTNERS

TEL.06-6245-3649 地下鉄本町駅より
徒歩1分

URL:<https://www.sakura-kokusai.com/>



司法書士
行政書士 櫻井 恵子

入管業務

各種
許認可

会社設立

相
続
遺
言

成年後見

民事信託

柑 芦 会

柑芦会

1) 2024年度 正味財産増減計算書

(2024年4月1日~2025年3月31日)

和歌山大学 柑芦会

(単位:円)

科 目	2024年度実績	2023年度実績	増 減
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
入会金	5,796,000	5,520,000	276,000
利息収入	1,298,409	1,328,459	△ 30,050
広告収入	562,500	833,500	△ 271,000
補助金収入	149,560	149,560	0
寄付金収入	34,384	26,636	7,748
支部年会費徴収手数料	141,300	81,000	60,300
雑収入	39,600	29,600	10,000
経常収益合計	8,021,753	7,968,755	52,998
(2)経常費用			
支部総会祝金	140,000	110,000	30,000
理事会費	252,900	233,860	19,040
会議費	6,480	41,980	△ 35,500
通信費	112,752	82,781	29,971
広報活動費	1,063,323	874,236	189,087
支部年会費徴収費	970,101	952,456	17,645
支部通信費補助	860,000	1,170,000	△ 310,000
旅費交通費	621,832	431,382	190,450
寄附講義交通費	197,604	171,870	25,734
理事会等交通費	380,848	254,226	126,622
支部活性化費	752,244	1,013,967	△ 261,723
香村賞費	162,610	111,508	51,102
課外活動支援費	100,000	300,000	△ 200,000
経済学部創立100周年記念事業	0	1,400,000	△ 1,400,000
本部管理費	2,617,470	2,645,230	△ 27,760
システム管理費	214,540	166,760	47,780
事務用品費	78,556	76,220	2,336
什器備品費	0	0	0
減価償却費	0	0	0
柑芦編集費	16,000	30,000	△ 14,000
柑芦印刷費	1,641,594	2,221,175	△ 579,581
慶弔費	0	0	0
雑 費	67,678	36,273	31,405
予備費	0	0	0
経常費用合計	10,256,532	12,323,924	△ 2,067,392
当期経常増減額	△ 2,234,779	△ 4,355,169	2,120,390
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益合計	0	0	0
(2)経常外費用			
有価証券評価損	4,473,000	2,124,000	2,349,000
有価証券売却損	0	0	0
経常外費用合計	4,473,000	2,124,000	2,349,000
当期経常外増減額	△ 4,473,000	△ 2,124,000	△ 2,349,000
当期正味財産増減額	△ 6,707,779	△ 6,479,169	△ 228,610
正味財産期首残高	108,626,309	115,333,778	△ 6,707,469
正味財産期末残高	101,918,530	108,626,309	△ 6,707,779

2) 2025年度 正味財産増減予算書

(2025年4月1日~2026年3月31日)

(単位:円)

科 目	2025年度予算
1.経常増減の部	
(1)経常収益	
入会金	5,750,000
利息収入	1,140,000
広告収入	380,000
補助金収入	0
寄付金収入	0
支部年会費徴収手数料	150,000
雑収入	0
経常収益合計	7,420,000
(2)経常費用	
支部総会祝金	150,000
理事会費	100,000
会議費	10,000
通信費	150,000
広報活動費	1,100,000
支部年会費徴収費	1,000,000
支部通信費補助	0
旅費交通費	650,000
寄附講義交通費	340,000
ゲートウェイ交通費	0
理事会等交通費	460,000
支部活性化費	750,000
学生挑戦コンテスト(旧香村賞)費	200,000
課外活動支援費	200,000
経済学部創立100周年記念事業	0
本部管理費	3,000,000
システム管理費	200,000
一般社団法人化費	500,000
事務用品費	50,000
什器備品費	50,000
柑芦編集費	30,000
柑芦印刷費	2,300,000
慶弔費	50,000
雑 費	50,000
予備費	200,000
経常費用合計	11,540,000
当期経常増減額	△ 4,120,000
2.経常外増減の部	
(1)経常外収益	
経常外収益計	0
(2)経常外費用	
有価証券評価損	0
有価証券売却損	0
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
当期正味財産増減額	△ 4,120,000
正味財産期首残高	101,918,530
正味財産期末残高	97,798,530

3) 貸借対照表(2025年3月31日現在)

和歌山大学 柑芦会

(単位:円)

資産の部		負債・正味財産の部	
勘定科目	金 額	勘定科目	金 額
流動資産		流動負債	
現 金	2,687	預り金	195,531
普通預金	7,276,632	未払金	92,400
郵便貯金	1,951,633		
未収入金	239,509	負 債 合 計	287,931
流動資産 計	9,470,461	前期繰越正味財産	108,626,309
固定資産		(内 香村基金)	(90,000,000)
投資有価証券	92,736,000	当期正味財産増減額	△ 6,707,779
固定資産 計	92,736,000	正味財産 合 計	101,918,530
資 産 合 計	102,206,461	負債・正味財産 合 計	102,206,461

(一財)和歌山大学経済学部後援会

1) 2024年度 正味財産増減計算書
(2024年4月1日~2025年3月31日)

一般財団法人
和歌山大学経済学部後援会
(単位:円)

科 目	2024年度実績	2023年度実績	増 減
I.一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1) 経常収益			
利息収入	138,201	135,849	2,352
経常収益合計	138,201	135,849	2,352
(2) 経常費用			
① 事業費			
学術研究・海外留学助成	932,440	1,283,390	△ 350,950
EC奨学金制度	270,000	270,000	0
事業費合計	1,202,440	1,553,390	△ 350,950
② 管理費			
会議費	200,000	233,860	△ 33,860
通信費	1,428	852	576
事務用品費	38,012	40,815	△ 2,803
家賃	960,000	960,000	0
機器リース料	123,948	123,948	0
租税公課	10,500	10,500	0
雑費	54,449	54,339	110
管理費支出合計	1,388,337	1,424,314	△ 35,977
経常費用合計	2,590,777	2,977,704	△ 386,927
当期経常増減額	△ 2,452,576	△ 2,841,855	389,279
2.経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計	0	0	0
(2) 経常外費用			
有価証券評価損	483,000	249,000	234,000
経常外費用合計	483,000	249,000	234,000
当期経常外増減額	△ 483,000	△ 249,000	△ 234,000
当期一般正味財産増減額	△ 2,935,576	△ 3,090,855	155,279
一般正味財産期首残高	19,430,890	22,521,745	△ 3,090,855
一般正味財産期末残高	16,495,314	19,430,890	△ 2,935,576
II.指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III.正味財産期末残高	16,495,314	19,430,890	△ 2,935,576

2) 2025年度 正味財産増減予算書
(2025年4月1日~2026年3月31日) (単位:円)

科 目	2025年度予算
I.一般正味財産増減の部	
1.経常増減の部	
(1) 経常収益	
利息収入	140,000
経常収益合計	140,000
(2) 経常費用	
① 事業費	
学術研究・海外留学助成	1,400,000
EC奨学金制度※	540,000
事業費合計	1,940,000
② 管理費	
会議費	200,000
通信費	10,000
事務用品費	50,000
家賃	960,000
機器リース料	150,000
租税公課	30,000
雑費	60,000
管理費支出合計	1,460,000
経常費用合計	3,400,000
当期経常増減額	△ 3,260,000
2.経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益合計	0
(2) 経常外費用	
有価証券評価損	0
経常外費用合計	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,260,000
一般正味財産期首残高	16,495,314
一般正味財産期末残高	13,235,314
II.指定正味財産増減の部	
当期指定正味財産増減額	0
指定正味財産期首残高	0
指定正味財産期末残高	0
III.正味財産期末残高	13,235,314

※EC奨学金制度は2025年度より柑芦会奨学金制度に変更

3) 貸借対照表(2025年3月31日現在)

一般財団法人
和歌山大学経済学部後援会
(単位:円)

資産の部		負債・正味財産の部	
勘定科目	金 額	勘定科目	金 額
流動資産			
現 金	1,673		
普通預金	6,069,100		
未収入金	37,493		
流動資産 計	6,108,266	負債合計	0
固定資産			
土 地	138,048	前期繰越正味財産	19,430,890
投資有価証券	10,249,000	当期正味財産増減額	△ 2,935,576
固定資産 計	10,387,048	正味財産合計	16,495,314
資 産 合 計	16,495,314	負債・正味財産 合計	16,495,314

柑芦会「川柳サークル」について

- ・柑芦会の川柳サークルは2020年の7月に発足しました。現在の登録者は50名あまりですが、毎月の投稿に参加されているのは9名くらいです。今号からはその作品を掲載させていただきます(今回は8名分です)。
- ・このサークルの特徴は、SNSのフェイスブックを活用して活動していることです。毎月の投句や互選の投票もすべてフェイスブックを通じて行っています。このため、全国のどこからでも参加することができ、実際にもメンバーは大阪支部のほか神戸支部、東京支部、東海支部からも参加されています。
- ・俳句と比べ、季語がなくても詠める川柳はどなたでもお気軽に参加できます。また川柳は人情の機微を詠み込むのが特徴です。世の中のできごとや身の回りのことで日ごろ感じていることや心境を文字にして残したい方は是非ご参加ください。関心のある方や参加ご希望の方は、下記までお問い合わせください。

北村修一
skitamura@kcn.jp
090-9055-8287



メンバーの作品 (雅号の五十音順)

〈おそ松〉谷垣内和之(大22期、東京支部)

旨いのは食うたらアカンものばかり
(兼題「あかん」)

健さんと寅さんがいた良い時代
(兼題「昭和」)

コメがないそんな日本に誰がした

〈鼓均〉辻 均(大20期、神戸支部)

セミナーの質疑はすべてAーで

宰相は船を漕ぎすぎ沈没だ

もう喜寿やいやまだ喜寿の使い分け

〈こじろう〉福嶋隆裕(大33期、大阪支部)

気がつけば歩きスマホが常態化

ゆめ希望失われつつ縮む国

(兼題「遠い」)

規律なく我慢もしない多様性

〈爺メン〉中田陽之(大15期、大阪支部)

通院は修行修行と母が言い

健康の寿命を延ばす散歩道

(兼題「嗚呼」)

フロイデが世界に響く夢の洲

〈修太郎〉北村修一(大18期、大阪支部)

SNSが天下国家を左右する

いつからか「危険な暑さ」との予報

ラー博の地下にレトロな昭和あり

(兼題「昭和」)

〈博州〉平林義康(大20期、神戸支部)

手のひらを返し万博持ち上げる

ランプを軸に回転する地球

まあまあで日々過こせれば良しとする

(兼題「まあまあ」)

〈万年青年〉鈴木光伸(大31期、東海支部)

デコピンに気品漂うMVP

もうあかんそこが勝負の分れ目だ

パワハラの行き着く先に未来なし

〈幸彦〉八木幸彦(大25期、神戸支部)

辛いとき昭和歌謡を口ずさむ

注文に触れ合いのないタブレット

団塊の世代がいなくなる職場

訃報

本年4月、全会員向けに「消息葉書」を送付し、過年度分も含めて多くの方から訃報連絡を頂きました。
心からご冥福をお祈り申し上げます。
ご逝去日をご連絡頂いていない場合は、「-」(不明)としています。(敬称略)

(2025年7月23日現在)

卒業校名称	卒期	氏名	永眠年月日	卒業校名称	卒期	氏名	永眠年月日	卒業校名称	卒期	氏名	永眠年月日
高商	20	堀口幸雄	2024.2.-	大学	8	加藤 軯彦	2024.10.22	大学	19	田中 昌平	2025.5.31
	20	美馬慶一郎	-		8	玉置 通夫	2024.2.20		19	矢倉 幸一	-
経専	1	藺田文則	-	8	藤田 英雄	2024.7.22	21	内田 和人	-		
	2	山西敏弘	2025.4.11	9	秋月輝夫	-	21	野村 豊	-		
	3	藤江直文	2024.2.1	9	荒木義行	-	21	馬場 優	2024.4.26		
	3	松浦日出夫	2023.-.-	9	坐子義之	-	22	川村 惠洋	-		
	3	宮井崇行	-	9	高田 研一	2025.2.21	22	杉本 和昭	2025.1.20		
	3	三宅徳二	-	9	新田 敬治	-	23	竹上 義則	-		
	4	井上芳昌	-	10	有賀 啓	2024.10.20	23	藤原 一広	-		
工専	4	新家英一	-	10	芝 幸弘	-	23	丸山 富男	-		
	1	正木 哲夫	-	10	西村 泰典	-	26	角田正一郎	2024.11.26		
	2	泉 昇	-	10	野澤 俊晴	-	26	鷺 尾 修	2023.6.5		
	2	岩橋 利夫	2024.11.9	10	森村 宗高	2025.1.30	27	松田 博治	-		
大学	2	川端 六郎	2024.6.19	11	大串 徹	-	31	土佐 治	-		
	1	北林 修治	-	11	山田 毅	2025.3.18	32	松本 匡淳	2024.3.-		
	1	林口 匡男	-	11	吉田 孝宏	2024.10.15	33	坂上 明弘	-		
	2	下方 誠司	-	12	足立 昭夫	2024.8.26	33	三木 公一	-		
	2	築野 勝治	2024.8.16	12	休場 淳博	2024.9.21	36	上田 吉彦	2024.9.28		
	2	藤原 彰	2024.11.14	12	齋藤 昌雄	2024.12.1	46	水上 義幸	-		
	3	笠井 準一	2024.7.12	12	高谷 克人	2024.12.7	48	井上 貴夫	2024.12.21		
	3	中田 隆雄	-	12	山下 眞一郎	-	短大	1	高橋 幸雄	-	
	3	西垣 義郎	-	12	吉本 秀一	-		1	釣谷 寛	-	
	3	濱田 耕司	2024.9.-	13	穴田 勝己	2025.5.6		2	高島 謙治	2024.12.9	
	3	安本 純	2024.12.29	13	古川 宏征	2024.12.21		2	花光 佐和三	-	
	4	奥村 隆司	2024.3.9	13	三ツ石 真勝	2024.4.-		4	森下 康夫	2025.4.-	
	4	小野 達郎	2025.5.29	13	米元 敏昭	2025.3.26		11	中谷 駿	-	
	4	川口 憲夫	-	14	高田 敏之	2024.11.10		11	山下 弘	-	
	4	小杉 弘	-	14	羽田 俊博	-		12	東川 順子	2025.1.15	
	4	田中 幸男	2024.5.-	15	谷村 芳三郎	2024.6.1		15	矢野 亀三郎	2025.3.-	
	4	中谷 洋一	2023.3.20	15	松本 樹也	2023.12.21		17	大道 伸二	2024.10.26	
	4	西野 健造	-	16	安達 源二	-	24	山路 恵子	-		
	4	宗方 弘吉	-	16	石原 克司	2025.4.7	30	栗本 佳克	-		
	5	大倉 安弘	-	16	大住 正明	2025.2.-					
5	久保井 正三	2024.11.17	16	笥 勝隆	-						
5	黒田 豊太郎	2024.9.5	16	竹中 茂	-						
5	笹岡 顕一郎	2023.8.1	16	中川 勝	-						
5	山東 徳郎	2024.9.17	16	渡辺 衛一	2024.9.2						
5	山下 盛弘	-	17	齋藤 郁雄	2025.2.11						
5	若林 明	-	17	吉藤 伸一	-						
7	川口 榮一	2025.4.1	18	磯部 建昭	-						
7	山崎 一郎	2025.2.27	18	佐伯 式通	2024.1.-						
8	覚 正清三	-	18	杉本 孝雄	-						



「柑芦」第56号

和大生人材応援採用企業 広告索引

(50音順)

ア	株浅川組47 株オーエ48	ナ	中田食品(株)47
カ	紀陽情報システム(株)50	ハ	菱岡工業(株)49
サ	濟盛堂薬品(株)48 株島精機製作所48	マ	(株)湊組49
		ワ	和歌山県警察官募集案内51 和歌山県人事委員会事務局50

広告索引

(50音順)

ア	岩垣会計事務所34 鶴島会計事務所35 株岡本設計34	ナ	名尾公認会計士事務所26 なんば道頓堀ホテル45 株南北36
カ	川瀬計理事務所19 紀三井寺ガーデンホテル はやし20 株共立合金製作所25 株小泉組12	バ	パークス(株)16 株白山機工31
サ	敷島製パン(株)24 司法書士法人さくら国際67	マ	夫馬税理士事務所25
タ	大成金属(株)72 高島工業(株)38 チョーヤ梅酒(株)38 坪内会計事務所29	ヤ	山中会計事務所19
		ラ	リオ税理士事務所62



次代を見つめて

鉄から鉄へ。命をつなぐ。

大成金属株式会社

取締役会長 伊藤弘之

〒457-0843 名古屋市南区忠次1-8-15

TEL (052)691-2956 FAX (052) 691-2960

URL <http://taiseikinzoku.co.jp/>

あ と が き

柑芦第56号(2025年版)は新しい編集委員も加わり、無事発刊することが出来ました。原稿依頼に快く応じて頂きました皆様方、編集に携わって下さいました編集委員、柑芦会役員の方々のご尽力に対し、深く感謝申し上げます。

来年秋には、柑芦会設立100周年の記念行事を行い、和歌山市内のホテルで祝賀行事も開催されます。次の新しい一歩にあわせ、本誌も紙媒体から、情報のより早く正確な電子媒体への移行に向け努力中です。勿論、一度に全て変えるのではなく、従来の紙媒体の冊子もお読みいただけるようにいたします。

そうした新しい体制に対応すべく、今回新たな編集委員の方々にも入って頂きました。皆様方にとってこれからも親しんでいただける「柑芦」誌でありたいと願っています。

経済学部卒業生の親睦会が何故「柑芦会」と呼ばれるのか? 私たちがこれまで当然のように使っていた言葉に疑問を持つ同窓生も少なからずいらっしゃいます。栄谷の今の学舎に移転統合されてかなりの時間が経ち、卒業生の中には「柑芦」という言葉が不思議な感覚で受け止められているような気がします。パソコンやスマホで「こうろ」を入力しようとしても違う文字しか出てこない、こんな不便な名前を止めては? の意見まで聞くようになりました。そういう時代になって来たのですね? そこで伝統あるこの「柑芦」について解説を入れました。受け継がれる伝統を表す言葉として認識していただければ幸いです、我々が引き継いだ伝統をいかに正確に次世代へ渡せるのか、そうしたことが試される時代です。これからもパーソナリティーを大切にしつつ、仲間の輪を見守って行ける広報誌にしたいと願っております。

「柑芦」編集委員長 大17 穂永 千秋

◆転載禁止 本誌掲載の記事・文章・写真については、無断転載は禁止します。

柑芦 第56号(2025年版)

2025年10月発行
発行所 大阪市中央区谷町4丁目4-17
ロイヤルタワー大阪谷町207号
電話 06-6941-4986
FAX 06-6947-7925
発行人 垣見 祐二
編集人 穂永 千秋
(印刷・製本 東洋紙業高速印刷株式会社)

柑芦編集委員会

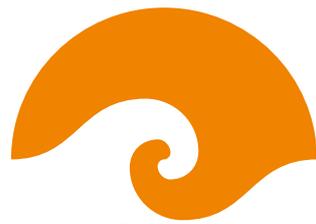
委員長	穂永 千秋(神戸)
委員	青柳 明雄(大阪)
同	萩原 謙(神戸)
同	糸川 公偉(大阪)
同	平野 勝久(大阪)
同	熊田 昌之(大阪)
同	平松 宏信(東海)
同	中川 貴照(東京)
事務局	浦 義弘(大阪)
各支部	広報支局員

広告掲載申込み受付中!!

「柑芦」の編集費用は、広告収入でその大部分を賅っております。
皆様のご協力をお願いします。
お問合せ、お申込みは、本部事務局へ

《投稿募集!!》

柑芦会員並びに関係者の方々からの投稿を歓迎いたします。
随筆・紀行文・俳句・短歌・詩……など
ただし、編集上、訂正、削除等の変更がある場合をお含み置き下さい。



wakayama
univ.